

豊田地域医療センター病院年報

平成 2 8 年度

< 目次 >

1	病院理念と基本方針	1
2	発刊にあたり	2
3	病院機能	
3.1	施設概要	3
3.2	各種指定・学会認定等	4
3.2.1	各種指定	
3.2.2	学会認定	
3.2.3	病院機能評価	
3.2.4	人間ドック健診施設機能評価	
3.3	施設基準	5
3.4	組織図	6
3.5	医療機器	7
3.5.1	主な医療機器	
3.5.2	主な医療システム	
4	業務状況	
4.1	診療実績	
4.1.1	科別患者数	8
4.1.2	地域別患者数	10
4.1.3	年齢構成別患者数	11
4.2	健診実績	
4.2.1	総合健診（人間ドック）受診者数	12
4.2.2	総合健診（人間ドック）地域別受診者数	13
4.2.3	他の健診受診者数	13
4.2.4	集団検診受診者数	14
4.2.5	学校健診	14
4.3	地域医療連携実績	
4.3.1	紹介患者実績	15
4.3.2	医療相談実績	15
4.4	在宅実績	
4.4.1	地域包括支援実績	16
4.4.2	居宅介護支援実績	16
4.4.3	訪問看護実績	16
4.4.4	訪問診療実績	17
4.5	部門実績	
4.5.1	医療安全管理部門	18
4.5.2	感染管理部門	19
4.5.3	診療部門	21
4.5.4	薬剤部門	22
4.5.5	診療放射線部門	23

4.5.6	臨床検査部門	23
4.5.7	手術部門	24
4.5.8	リハビリテーション部門	25
4.5.9	栄養管理部門	26
5	委員会状況	
5.1	委員会一覧	27
5.2	主な委員会の活動報告	
5.2.1	医療安全管理委員会	28
5.2.2	院内感染対策委員会・I C T委員会	30
5.2.3	健診運営委員会	32
5.2.4	サービス向上委員会	33
5.2.5	診療報酬委員会	36
5.2.6	内視鏡室運営委員会	37
5.2.7	栄養管理委員会	39
5.2.8	N S T委員会	42
5.2.9	褥瘡防止対策委員会	43
5.2.10	薬事材料委員会	45
5.2.11	臨床検査適正化・輸血療法委員会	46
5.2.12	入退院判定会	47
5.2.13	災害対策委員会	48
5.2.14	広報委員会	50
5.2.15	衛生委員会	51
6	講演、学会、研修会等の発表	53
7	研修状況	
7.1	研修会	55
8	実習状況	
8.1	学生実習	56
8.2	職場体験学習	57

病院理念

私たちは、医療・保健・福祉を通して、
地域のみなさまの生命を守り、
健康で生きがいのある生活を支援します。

基本方針

- 1 救急医療から慢性期医療・在宅支援まで、患者さまの立場にたった総合的医療を提供します。
- 2 健診事業の充実を図り、疾病の予防・早期発見を通して、地域のみなさまの健康増進に努めます。
- 3 地域の医療機関との連携を密にして、患者さまに適切な医療サービスを提供します。
- 4 良質な医療を提供するために、働きがいのある職場環境を整え、医療技術と知識及びモラルの向上に努めます。

豊田地域医療センター 院長

2 発刊にあたり

平成 28 年度病院年報

公益財団法人 豊田地域医療センター

院長

井野晶夫

いつも豊田地域医療センターにご支援・ご指導を頂き有難うございます。「豊田地域医療センター病院年報 平成 28 年度」をお届けいたします。

平成 28 年も中東の混乱に関連したテロ・紛争が頻発、北朝鮮の核・ミサイル開発、沖縄基地移転などの問題が続いていました。4 月には熊本地震が発生し、関連した犠牲者はその後の豪雨被害も含めて 247 人に上り、熊本城をはじめ何万もの建物が全半壊しました。これに際し当センターの寺澤、河本医師は診療支援活動として避難所などで診療に尽力しました。5 月にはオバマ米大統領が伊勢志摩サミットの後、現職のアメリカ大統領では初めての広島訪問をしました。また、7 月に相模原障害者施設で元職員による 19 人刺殺という悲惨な事件もありました。一方、イギリスの EU 離脱、アメリカでのトランプ大統領選出や韓国大統領弾劾訴追のほか、東京都での知事交代劇や東京オリンピックと築地移転問題ではテレビの報道番組の視聴率がずいぶん上がったのではと思います。でも、やはり 8 月のリオ・オリンピックでは史上最多のメダル 41 個獲得をはじめとする日本選手の活躍に皆さんも力づけられたのではと思います。また、大隅良典氏がノーベル生理学・医学賞を受賞し、わが国は 3 年連続のノーベル賞受賞となりました。

平成 28 年度の病院事業については、「2025 年問題」に対して厚生労働省から提言された地域包括ケアシステムが進められる中、豊田市における地域包括ケアの構築に向けて、在宅医療の提供と地域医療に関わる人材の育成支援に積極的に取り組みました。在宅医療支援センターと地域医療連携室を設置し業務の迅速化、効率化を図りました。2 年目になった家庭医療・総合診療プログラムでは新たな 4 名の専攻医を迎えることができ、訪問診療/看護に関わる看護師の補充も進めることができました。訪問診療は延べ患者数 3,803 人（対前年度比 311.7%）、看取り件数は 101 件になり、訪問看護利用者数は 8,088 人（対前年度比 104.3%）、訪問リハビリテーション利用者数は 2,493 人（対前年度比 141.2%）でした。地域包括ケア病床は 3 月から 8 床で運用を開始し、病床などの運用実績からも平成 29 年 3 月から 17 床に増床しました。入院診療では看護部を中心として適切なベッドコントロールに努めたことなどより病床利用率は 88.3%に増加しました。保健予防事業の事業所健診では今年度から新たにストレスチェックを開始し、102 事業所、10,566 人に実施しました。

ここに当センター各部門の業務状況と主な委員会の活動状況を病院年報 平成 28 年度としてまとめました。ご一読頂ければ幸いです。

豊田地域医療センターの更なる発展のために今後とも努力いたします。皆様のなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

3. 病院機能

3.1 施設概要

平成 28 年 4 月 1 日現在

所在地

〒471-0062

愛知県豊田市西山町 3 丁目 30 番地 1

連絡先

0565-34-3000（代表）

ホームページアドレス

<http://www.toyotachiiki-mc.or.jp>

敷地面積

33,505.90 m²

診療科

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、総合診療科、小児科、神経内科、
外科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、泌尿器科、放射線科、歯科

病床数

一般病床 80 床

回復期リハビリテーション病床 30 床

療養病床 40 床

施設規模

施 設	構 造	延床面積
病院本体	鉄筋コンクリート造	17,810.58 m ²
	地下 1 階地上 4 階建	
MR I 棟	鉄筋コンクリート造	119.36 m ²
	平屋建	
倉庫（旧感染症病棟）	鉄筋コンクリート造	651.01 m ²
	地下 1 階地上 2 階建	
豊田地域看護専門学校	鉄筋コンクリート造	3,029.73 m ²
	3 階建	
体育館	鉄筋コンクリート造	686.99 m ²
	平屋一部 2 階建	

職員数

事務局		病院部門																教育部門			合 計	
	事務員		医師	薬剤師	診療放射線技師	臨床検査技師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	管理栄養士	保健師	看護師	准看護師	社会福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	事務員	技能員		看護師		事務員
2	2	246	18	7	17	19	14	11	4	3	6	97	1	5	8	3	31	2	14	13	1	262

3.2 各種指定・学会認定等

平成 28 年 4 月 1 日現在

3.2.1 各種指定

社会保険等指定	保険医療機関
	結核医療機関
	労災保険指定医療機関
	労災保険二次健康診断等給付医療機関
	生活保護法指定機関
	被爆者一般疾病医療機関
	指定自立支援医療機関（精神通院医療）
	B 型・C 型肝炎患者医療給付事業指定医療機関
	難病医療協力病院
	救急告示医療機関
各種指定	藤田保健衛生大学病院臨床研修協力医療機関
	豊田地域看護専門学校実習指定病院
	国土交通省短期入院協力指定病院（交通事故後の重症後遺症）

3.2.2 学会認定

日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本外科学会外科専門医制度関連施設
日本脳ドック学会認定施設

3.2.3 病院機能評価

認定機関	公益財団法人 日本医療機能評価機構
バージョン	3 r d G : V e r 1 . 0
種別・区分	一般病院（100 床以上）（主たる機能）
認定日	2013-11-01
認定番号	JC1558-2
認定有効期限	2018-09-28

3.2.4 人間ドック健診施設機能評価

認定機関	公益財団法人 日本人間ドック学会
バージョン	2.0
認定日	2013-04-20
認定番号	306
認定有効期限	2018-03-31

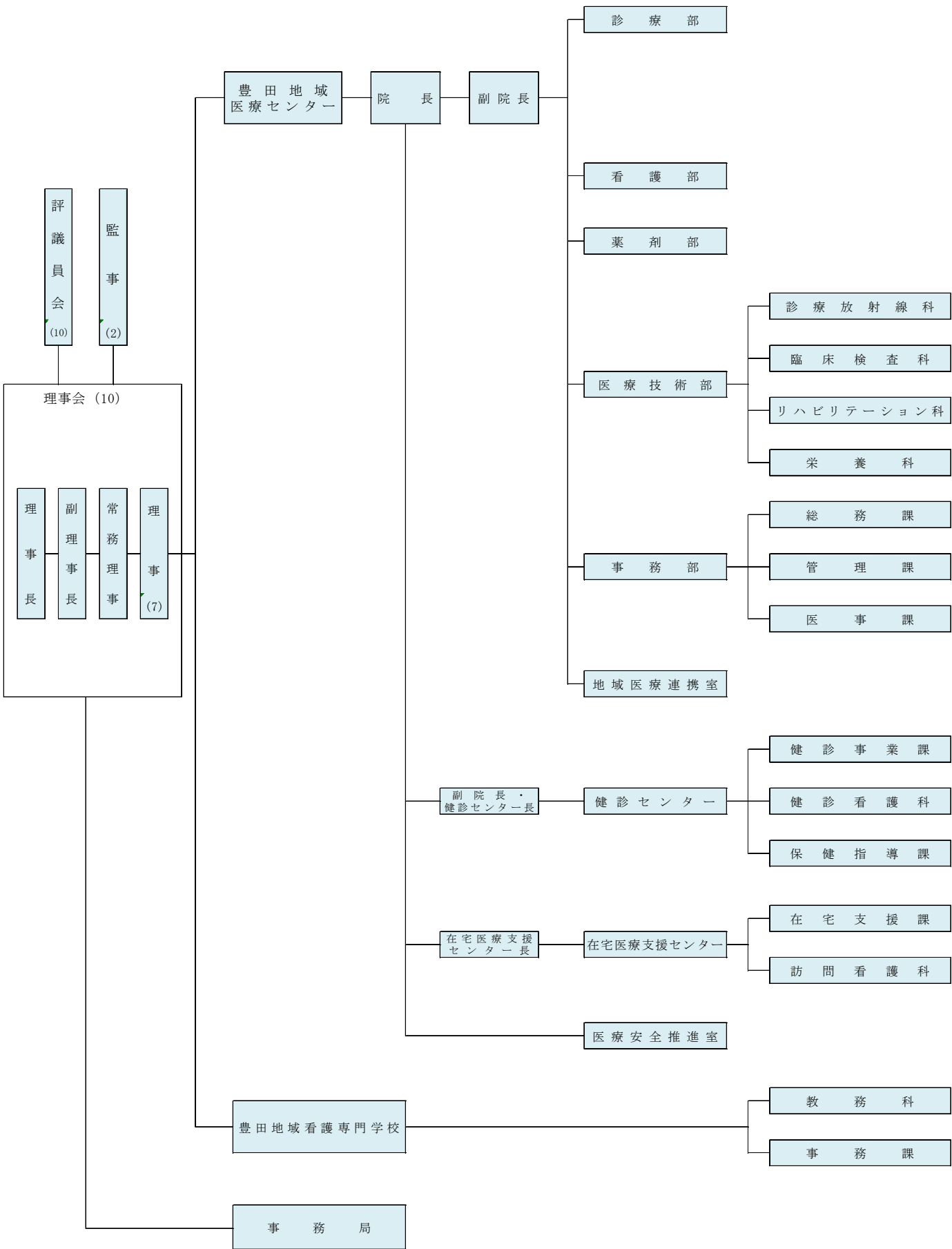
3.3 施設基準

平成 29 年 3 月 31 日現在

届出名称	受理番号	算定開始年月日
一般病棟入院基本料	(一般入院) 第2590号	平成26年 9月 1日
療養病棟入院基本料	(療養入院) 第850号	平成25年11月 1日
診療録管理体制加算 1	(診療録1) 第13号	平成26年 4月 1日
急性期看護補助体制加算	(急性看補) 第570号	平成29年 3月 1日
療養環境加算	(療) 第179号	平成20年 8月 1日
重症者等療養環境特別加算	(重) 第80号	平成 3年 4月 1日
療養病棟療養環境加算 1	(療養1) 第137号	平成25年 4月 1日
栄養サポートチーム加算	(栄養チ) 第73号	平成26年 6月 1日
医療安全対策加算 1	(医療安全1) 第109号	平成20年 4月 1日
感染防止対策加算 1	(感染防止1) 第63号	平成26年 6月 1日
総合評価加算	(総合評価) 第30号	平成23年 8月 1日
後発医薬品使用体制加算 1	(後発使1) 第14号	平成28年 4月 1日
データ提出加算 1	(データ提) 第182号	平成27年10月1日
退院支援加算 1	(退支) 第244号	平成28年 7月 1日
認知症ケア加算 2	(認ケア) 第76号	平成29年 1月 1日
回復期リハビリテーション病棟入院料2	(回2) 第137号	平成23年 7月 1日
地域包括ケア入院医療管理料 1	(地包ケア1) 第4819号	平成29年 3月 1日
入院時食事療養 (I) ・入院時生活療養 (I)	(食) 第316号	平成 3年 3月30日
がん性疼痛緩和指導管理料	(がん疼) 第65号	平成22年 4月 1日
ニコチン依存症管理料	(ニコ) 第1446号	平成20年 7月 1日
がん治療連携指導料	(がん指) 第904号	平成25年 7月 1日
薬剤管理指導料	(薬) 第414号	平成22年 4月 1日
医療機器安全管理料 1	(機安1) 第59号	平成20年 4月 1日
別添1の「第14の2」の1の(1)に規定する在宅療養支援病院	(支援病1) 第18号	平成27年 8月 1日
在宅緩和ケア充実診療所・病院加算	(在緩病) 第1号	平成28年 4月 1日
在宅時医学総合管理料又は特定施設入居時等医学総合管理料	(在医総管) 第1535号	平成27年 4月 1日
在宅がん医療総合診療料	(在総) 第1773号	平成27年 6月 1日
検体検査管理加算 (I)	(検I) 第276号	平成20年 4月 1日
検体検査管理加算 (II)	(検II) 第44号	平成20年 4月 1日
画像診断管理加算 2	(画2) 第69号	平成20年 4月 1日
C T撮影及びMR I 撮影	(C・M) 第1097号	平成28年 4月 1日
冠動脈C T撮影加算	(冠動C) 第26号	平成21年 1月 1日
心臓MR I 撮影加算	(心臓M) 第13号	平成20年 4月 1日
無菌製剤処理料	(菌) 第197号	平成21年12月 1日
脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)	(脳I) 第99号	平成24年 4月 1日
運動器リハビリテーション料 (I)	(運I) 第47号	平成24年 4月 1日
呼吸器リハビリテーション料 (I)	(呼I) 第70号	平成24年 4月 1日
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術	(通手) 第325号	平成20年 4月 1日
胃瘻造設術	(胃瘻造) 第26号	平成26年 4月 1日
輸血管理料 II	(輸血II) 第23号	平成19年 3月 1日
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	(胃瘻造嚥) 第24号	平成26年 4月 1日

3. 4 組織図

平成 28 年 4 月 1 日現在



3.5 医療機器

平成 29 年 3 月 31 日現在

3.5.1 主な医療機器

部門	備品名	台数
画像診断	一般撮影装置	4
	X線テレビ装置	6
	乳房軟線撮影装置	2
	パノラマ撮影装置	1
	C T (6 4 列)	1
	M R I (1 . 5 テスラ)	1
	骨塩定量測定装置	1
内視鏡検査	気管支ファイバースコープ	1
	上部消化管ファイバースコープ	5
	下部消化管ファイバースコープ	3
検体検査	検査分析装置	7
生理検査	腹部超音波診断装置	7
	心臓超音波診断装置	1
	乳腺・その他超音波診断装置	2
認知機能検査	A D A S (D T - N a v i)	2

3.5.2 主な医療システム

備品名	メーカー	システム名
電子カルテシステム	富士通	HOPE-EGMAIN-NX
健診システム	日立メディコ	ヘルゼアネクスト
P A C S	東芝	RapideyeCore

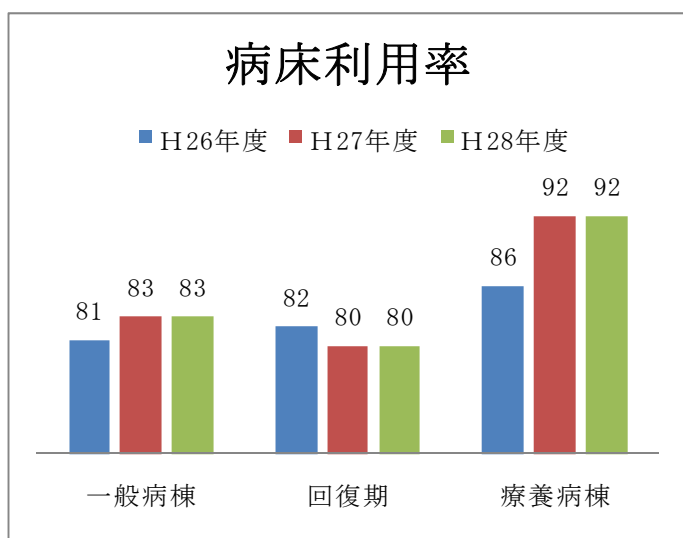
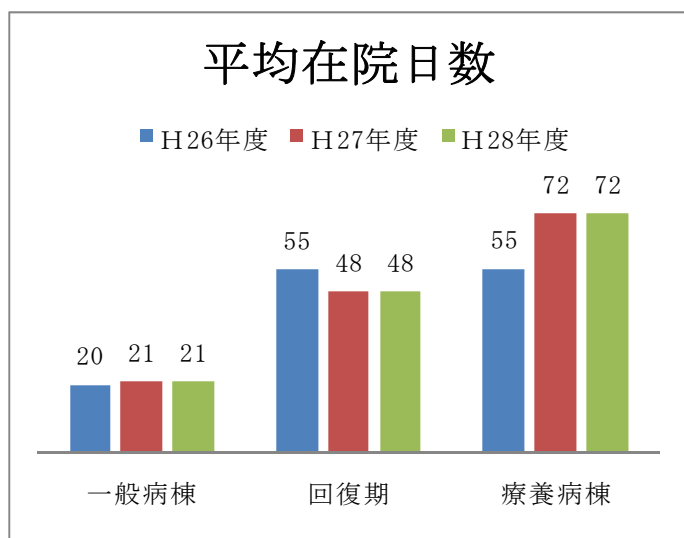
4. 業務状況

4.1 診療実績

4.1.1 科別患者数

区 分			合 計	1 日平均	前年度	前年度比 %	診 療 日 数	
								前年度
外 来	救 急 外 来	内 科	11,759人	32.2人	11,227人	104.7%	365日	366日
		小 児 科	3,385人	9.3人	3,578人	94.6%		
		外 科	4,417人	12.1人	5,020人	88.0%		
		歯 科	398人	5.3人	492人	80.9%	75日	75日
		小 計	19,959人		20,317人	98.2%		
	専 門 外 来 ・ お 年 寄 り 生 き い き 外 来	総合診療科	11,947人	40.8人	7,618人	156.8%	293日	294日
		消化器内科	6,862人	23.4人	7,186人	95.5%		
		循環器内科	3,700人	12.6人	4,393人	84.2%		
		呼吸器内科	1,815人	6.2人	2,238人	81.1%		
		神 経 内 科	1,432人	4.9人	1,503人	95.3%		
		外 科	5,262人	18.0人	5,350人	98.4%		
		整 形 外 科	4,399人	15.0人	4,553人	96.6%		
		脳神経外科	1,340人	4.6人	1,312人	102.1%		
		放 射 線 科	1,245人	4.2人	1,304人	95.5%		
		泌 尿 器 科	262人	0.9人	262人	100.0%		
		小 計	38,264人	130.6人	35,719人	107.1%		
		訪 問 診 療 (再 掲)	3,803人	13.0人	1,220人	311.7%		
		合 計	58,223人		56,036人	103.9%		

区 分 \ 月		合 計	1 日平均	前年度	前年度比 %	平均在院日数		病床利用率	
							前年度		前年度
入 院	一 般 病 棟	25,577人	70.1人	24,257人	105.4%	21.2日	21.3日	87.6%	82.8%
	一 般 病 床 (再 掲)	22,502人	61.6人	—	—	21.0日	—		—
	地域包括ケア病床 (再 掲)	3,075人	8.4人	—	—	22.9日	—		—
	回復期リハビリ テーション病棟	9,181人	25.2人	8,792人	104.4%	46.6日	48.2日	83.8%	80.1%
	療 養 病 棟	13,559人	37.1人	13,504人	100.4%	48.5日	71.6日	92.9%	92.2%
	合 計	48,317人	132.4人	46,553人	103.8%	26.2日	28.7日	88.3%	84.8%



< 定義 >

平均在院日数

年間在院患者のべ数

(年間新入院患者数 + 年間退院患者数) / 1/2

※除外患者を除かない全患者数

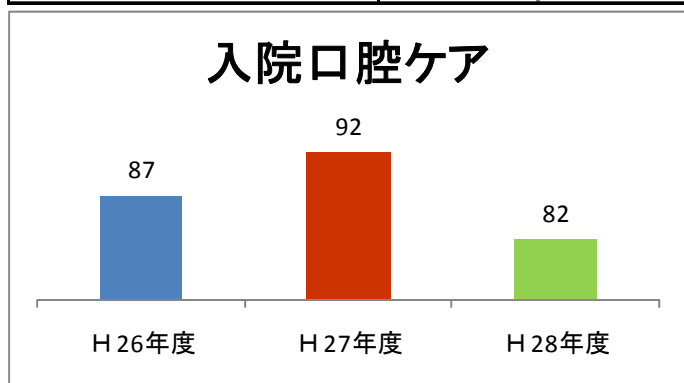
病床利用率

年間在院患者のべ数

病床数 × 365日

× 100%

区 分 \ 月		合 計	1 日平均	前年度	前年度比 %	診 療 日 数	
							前年度
入院口腔ケア (歯科)		82人	6.8人	92人	89.1%	12日	12日



4.1.2 地域別患者数

地域 区 分			豊 田 市								みよし市	その他	合 計
			旧市内	藤 岡 地 区	小 原 地 区	下 山 地 区	旭 地 区	足 助 地 区	稲 武 地 区	小 計			
外 来	救急外来	内 科	9,487人	711人	128人	54人	39人	97人	7人	10,523人	617人	619人	11,759人
		小 児 科	2,777人	187人	14人	13人	11人	27人	2人	3,031人	200人	154人	3,385人
		外 科	3,443人	289人	71人	26人	14人	56人	4人	3,903人	225人	289人	4,417人
		歯 科	288人	18人	5人	1人	2人	4人	1人	319人	47人	32人	398人
		小 計	15,995人	1,205人	218人	94人	66人	184人	14人	17,776人	1,089人	1,094人	19,959人
	専門外来・お年寄り生きいき外来	総合診療科	9,747人	747人	110人	54人	52人	104人	14人	10,828人	371人	748人	11,947人
		消化器内科	5,171人	424人	144人	47人	34人	116人	24人	5,960人	365人	537人	6,862人
		循環器内科	3,061人	198人	55人	23人	19人	41人	1人	3,398人	137人	165人	3,700人
		呼吸器内科	1,402人	93人	66人	4人	18人	34人	1人	1,618人	49人	148人	1,815人
		神 経 内 科	1,230人	75人	36人	0人	14人	38人	0人	1,393人	19人	20人	1,432人
		外 科	4,146人	292人	93人	60人	22人	64人	8人	4,685人	152人	425人	5,262人
		整 形 外 科	3,671人	243人	108人	12人	6人	19人	6人	4,065人	172人	162人	4,399人
		脳神経外科	1,067人	108人	33人	2人	2人	12人	5人	1,229人	66人	45人	1,340人
		放 射 線 科	939人	49人	13人	4人	2人	11人	1人	1,019人	161人	65人	1,245人
		泌 尿 器 科	212人	12人	4人	6人	3人	6人	1人	244人	2人	16人	262人
		小 計	30,646人	2,241人	662人	212人	172人	445人	61人	34,439人	1,494人	2,331人	38,264人
	合 計		46,641人	3,446人	880人	306人	238人	629人	75人	52,215人	2,583人	3,425人	58,223人
	構 成 比 %		80.1%	5.9%	1.5%	0.5%	0.4%	1.1%	0.1%	89.7%	4.4%	5.9%	100.0%
前 年 度		44,889人	3,287人	870人	297人	257人	602人	73人	50,275人	2,723人	3,038人	56,036人	
前 年 度 比 %		103.9%	104.8%	101.1%	103.0%	92.6%	104.5%	102.7%	103.9%	94.9%	112.7%	103.9%	

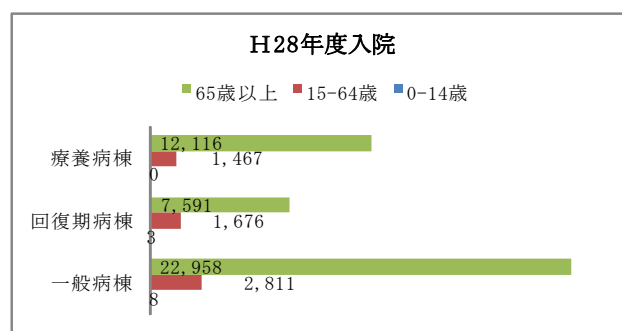
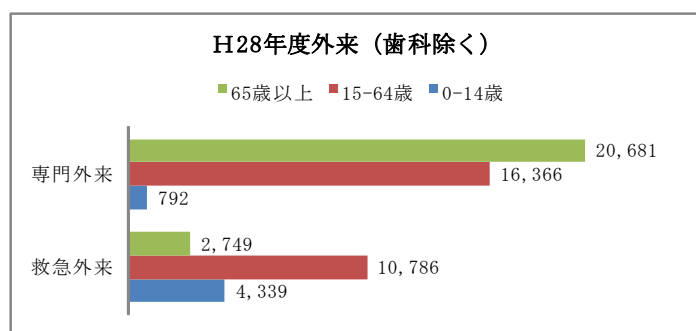
入 院	一 般 病 棟	22,056人	1,141人	858人	61人	156人	174人	41人	24,487人	234人	856人	25,577人
	回 復 期 リハビリテーション病棟	6,520人	762人	561人	0人	56人	0人	0人	7,899人	774人	508人	9,181人
	療 養 病 棟	12,283人	469人	162人	0人	0人	63人	42人	13,019人	57人	483人	13,559人
	合 計	40,859人	2,372人	1,581人	61人	212人	237人	83人	45,405人	1,065人	1,847人	48,317人
	構 成 比 %	84.6%	4.9%	3.3%	0.1%	0.4%	0.5%	0.2%	94.0%	2.2%	3.8%	100.0%
	前 年 度	39,787人	2,212人	1,228人	63人	55人	168人	21人	43,534人	1,020人	1,999人	46,553人
	前 年 度 比 %	102.7%	107.2%	128.7%	96.8%	385.5%	141.1%	395.2%	104.3%	104.4%	92.4%	103.8%

- ・ 外来は前年度と同様に、旧市内・藤岡地区・みよし市で全体の9割の患者数を占めている。
- ・ 入院は前年度と同様に、旧市内・藤岡地区・小原地区で全体の9割の患者数を占めている。

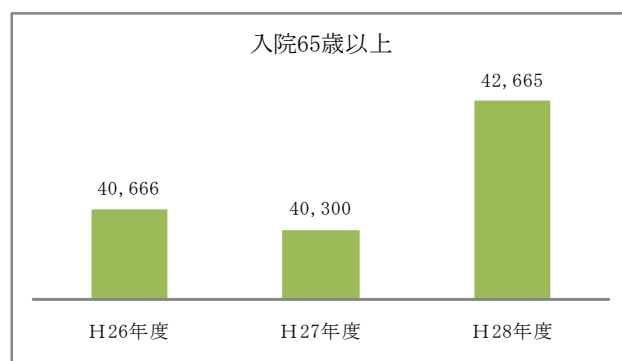
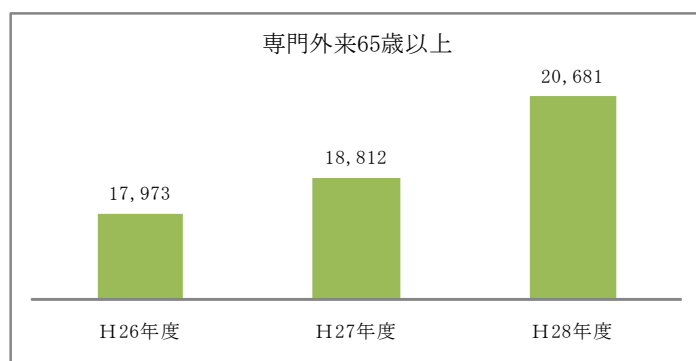
4.1.3 年齢構成別患者数

<年齢構成別患者数>

延べ数（人）		H28年度	H27年度	前年度比
外来 （歯科除く）	0-14歳	5,131人	5,635人	91.1%
	15-64歳	27,152人	28,182人	96.3%
	65歳以上	23,430人	21,727人	107.8%
入院	0-14歳	11人	9人	122.2%
	15-64歳	5,954人	6,244人	95.4%
	65歳以上	42,665人	40,300人	105.9%



<65歳以上の推移>



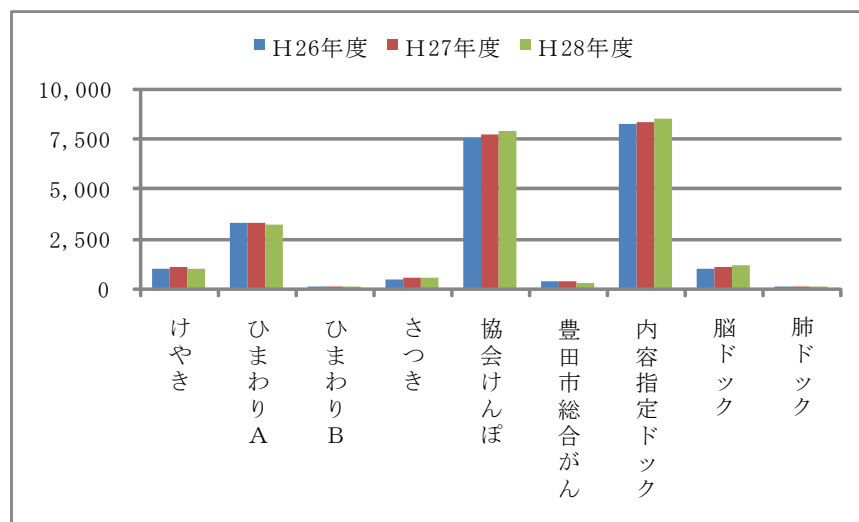
- ・外来の年齢別患者比率は、前年度と同様に0-14歳が1割、15-64歳が5割、65歳以上が4割であった。
- ・入院の年齢別患者比率は、前年度と同様の傾向で、65歳以上が約9割を占めている。

4.2 健診実績

4.2.1 総合健診（人間ドック）受診者数

区分		H28年度	H27年度	前年度比
コース別	けやき	1,022人	1,159人	88.2%
	ひまわりA	3,302人	3,323人	99.4%
	ひまわりB	209人	177人	118.1%
	さつき	639人	614人	104.1%
	協会けんぽ	7,943人	7,780人	102.1%
	豊田市総合がん	346人	441人	78.5%
	内容指定ドック	8,596人	8,416人	102.1%
	脳ドック	1,202人	1,170人	102.7%
	肺ドック	175人	189人	92.6%
年代別	29歳以下	841人	816人	103.1%
	30歳代	4,278人	4,292人	99.7%
	40歳代	7,384人	7,284人	101.4%
	50歳代	6,759人	7,012人	96.4%
	60歳代	3,558人	3,328人	106.9%
	70歳以上	614人	537人	114.3%
合計	受診者数	23,434人	23,269人	100.7%
	健診日数	293日	292日	100.3%
	1日当り受診者数	80.0人	79.7人	100.4%

検査別精密検査率	
内科診察	0.2%
眼圧	0.1%
眼底	0.7%
肺機能	0.8%
血圧	1.7%
心電図	2.2%
負荷心電図	1.0%
胸部X線	0.2%
胃部X線	3.8%
その他の消化管	8.6%
脂質代謝	6.3%
肝機能	6.3%
膵機能	0.2%
尿酸	3.6%
血清	1.3%
糖代謝	1.9%
血液一般	3.1%
腎機能	1.3%
電解質	0.5%
尿一般	1.8%
便潜血	4.9%
腹部超音波	0.6%
前立腺	2.1%
子宮頸がん	0.9%
婦人科	3.1%
乳がん	2.9%
肺がん	0.2%
骨密度	0.6%
総合判定	27.9%



※ 受診者の動向

- ・ 当センターは、豊田市で唯一の日本脳ドック学会認定施設であり、年々脳ドックの受診者が、増加しています。
- ・ 年代別にみると、高齢者（60歳代以降）の受診者が、増加しています。

4.2.2 総合健診（人間ドック）地域別受診者数

地域	豊田市								みよし市	その他	合計
	旧市内	藤岡地区	小原地区	下山地区	旭地区	足助地区	稲武地区	小計			
当年度	14,815人	1,170人	268人	237人	191人	439人	121人	17,241人	1,323人	4,870人	23,434人
構成比	63.2%	5.0%	1.1%	1.0%	0.8%	1.9%	0.5%	73.6%	5.6%	20.8%	100.0%
前年度	14,520人	1,180人	270人	248人	184人	466人	110人	16,978人	1,298人	4,993人	23,269人
前年度比	102.0%	99.2%	99.3%	95.6%	103.8%	94.2%	110.0%	101.5%	101.9%	97.5%	100.7%

4.2.3 他の健診受診者数

< 特定健診関係 >

健診の種類		平成28年度	H27年度	前年度比
豊田市健康診査	特定健診	5,533人	5,984人	92.5%
	後期高齢者健診	1,712人	1,560人	109.7%
社会保険等特定健診		720人	716人	100.6%
生き生き健診		70人	71人	98.6%
合計		8,035人	8,331人	96.4%

< 保健指導関係 >

区分			平成28年度	H27年度	前年度比%
特定保健指導	積極的支援	初回面接	40人	37人	108.1%
		実績評価	40人	27人	148.1%
	動機付け支援	初回面接	16人	38人	42.1%
		実績評価	35人	19人	184.2%
一般保健指導			369人	351人	105.1%
合計			500人	472人	105.9%

< 豊田市がん検診・肝炎検診 >

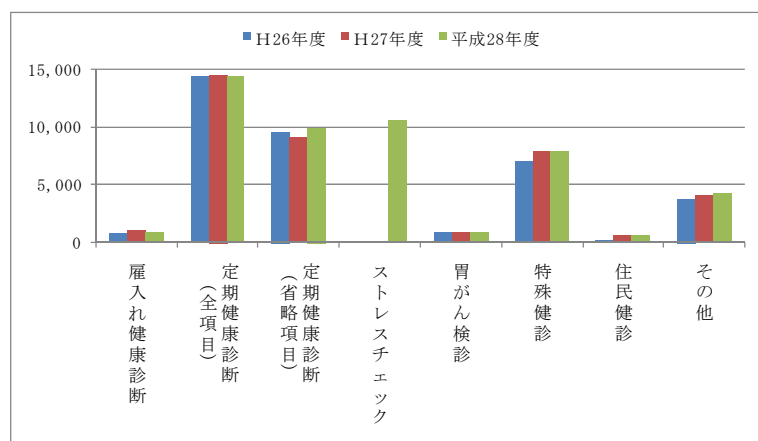
区分	平成28年度	H27年度	前年度比%
胃がん検診	5,986人	6,437人	93.0%
大腸がん検診	7,671人	8,052人	95.3%
肺がん検診	5,957人	6,177人	96.4%
子宮がん検診	2,148人	2,143人	100.2%
乳がん検診	2,843人	3,034人	93.7%
前立腺がん検診	1,731人	1,846人	93.8%
肝炎検診	452人	823人	54.9%
合計	26,788人	28,512人	94.0%

< その他の健診 >

健診の種類	平成28年度	H27年度	前年度比%
高齢者健診	248人	338人	73.4%
レディース検診	170人	196人	86.7%
骨粗しょう症健診	186人	143人	130.1%
簡易健診	890人	969人	91.8%
合計	1,494人	1,646人	90.8%

4.2.4 集団検診受診者数

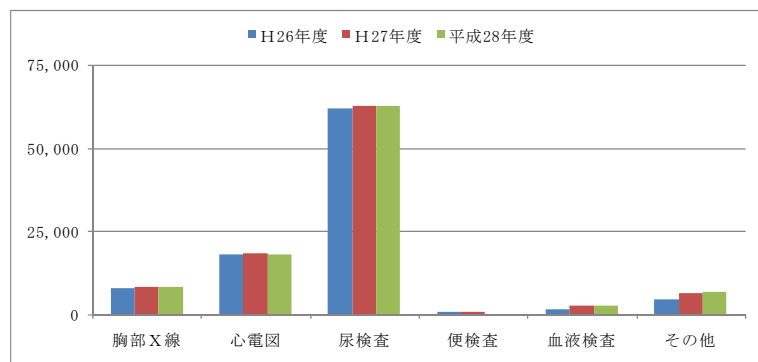
区分		平成28年度	H27年度	前年度比
事業所健診	雇入れ健康診断	832人	1,077人	77.3%
	定期健康診断（全項目）	14,413人	14,452人	99.7%
	定期健康診断（省略項目）	9,957人	9,160人	108.7%
	ストレスチェック	10,566	—	—
	胃がん検診	866人	853人	101.5%
	特殊健診	7,936人	7,862人	100.9%
住民健診		678人	672人	100.9%
その他		4,236人	4,060人	104.3%
合計		49,484人	38,136人	129.8%



※ストレスチェックを始めました

4.2.5 学校健診

区分	平成28年度	H27年度	前年度比
胸部X線	8,203人	8,447人	97.1%
心電図	18,194人	18,543人	98.1%
尿検査	62,851人	62,837人	100.0%
便検査	0人	640人	0.0%
血液検査	2,652人	2,575人	103.0%
その他	6,701人	6,534人	102.6%
合計	98,601人	99,576人	99.0%

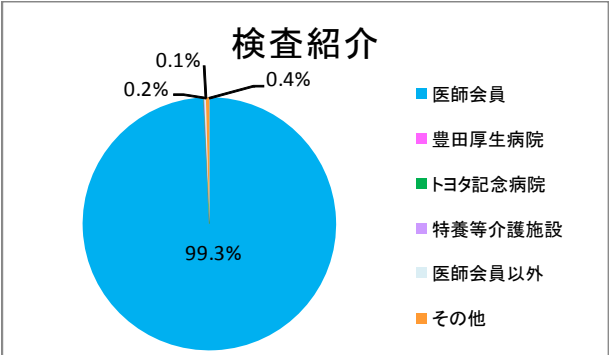
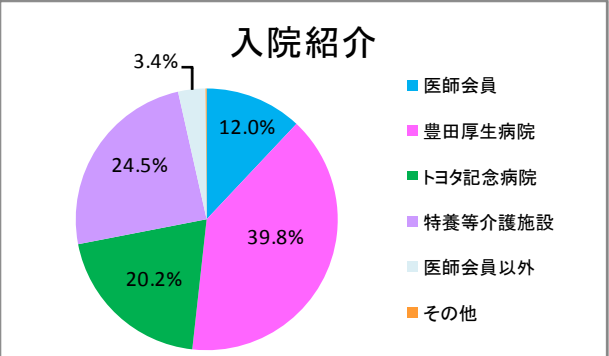
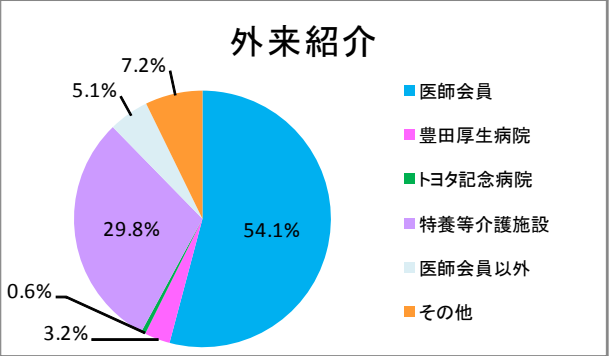


※便検査の委託が無くなりました

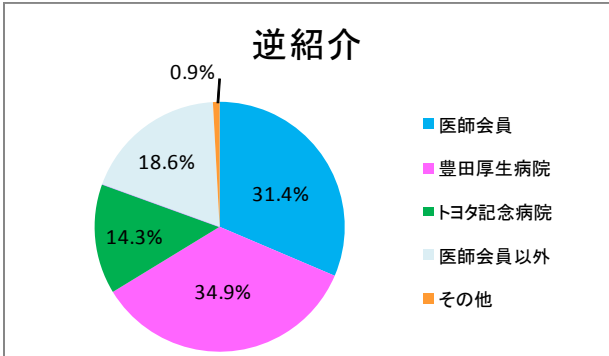
4.3 地域医療連携実績

4.3.1 紹介患者実績

区分			年度	H28年度	H27年度	前年度比
外 来 紹 介 患 者 数				1,121人	1,081人	103.7%
入院紹介患者数	一 般 病 棟			673人	568人	118.5%
	回 復 期 病 棟			175人	170人	102.9%
	療 養 病 棟			9人	4人	225.0%
	小 計			857人	742人	115.5%
検査紹介患者数	M R I	頭 部	257人	302人	85.1%	
		軀 幹	497人	535人	92.9%	
		四 肢	77人	84人	91.7%	
	C T	頭 部	76人	110人	69.1%	
		軀 幹	488人	488人	100.0%	
		四 肢	11人	14人	78.6%	
	内 視 鏡	上 部	290人	310人	93.5%	
		下 部	97人	108人	89.8%	
	X線透視	胃 部	0人	1人	0.0%	
		大 腸	1人	1人	100.0%	
	超 音 波	腹 部	94人	80人	117.5%	
		心 臓	25人	17人	147.1%	
		その他	13人	20人	65.0%	
	そ の 他			20人	11人	181.8%
	小 計			1,946人	2,081人	93.5%
合 計			3,924人	3,904人	100.5%	



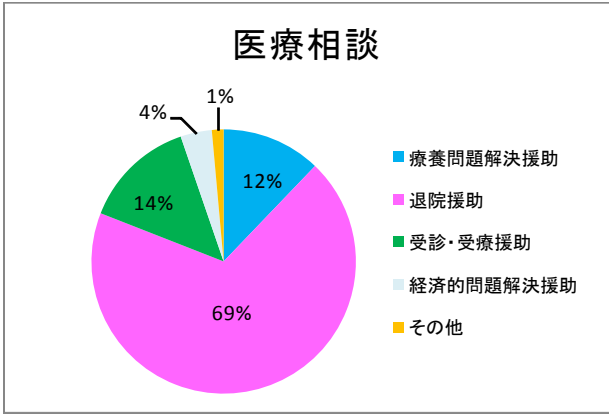
区分	年度	H27年度	H26年度	前年度比
逆紹介患者数		2,524人	2,313人	109.1%



4.3.2 医療相談実績

区分	年度	H28年度	H27年度	前年度比
医 療 相 談 件 数		5,385人	4,571人	115.5%

主だった相談は退院援助で70%を占めており、前年と構成比は変わらず、近隣の急性期病院からの転院や特養等介護施設からの受入れも多く、病状や身体状態、家族事情や経済状況などを鑑み、適切な療養環境が提供されるよう相談援助を行った。



4. 4 在宅実績

4. 4. 1 地域包括支援実績

区分 \ 年度	H28年度	H27年度	前年度比
高齢者見守り協力機関訪問	127件	56件	226. 8%
家族介護交流事業	9回	5回	180. 0%
介護予防教室	4回	4回	100. 0%
認知症サポーター養成講座	2回	2回	100. 0%
出前講座	7回	1回	700. 0%
地域ケア会議	5回	0回	

区分 \ 年度	H28年度	H27年度	前年度比
介護予防支援	951件	1, 135件	83. 8%
新規契約者数	40件	61件	65. 6%
相談件数	2, 968件	2, 775件	107. 0%

4. 4. 2 居宅介護支援実績

区分 \ 年度	H28年度	H27年度	前年度比
要 支 援 1	12人	3人	400. 0%
要 支 援 2	0人	10人	0. 0%
要 介 護 1	347人	260人	133. 5%
要 介 護 2	245人	286人	85. 7%
要 介 護 3	143人	126人	113. 5%
要 介 護 4	150人	75人	200. 0%
要 介 護 5	89人	78人	114. 1%
合 計	986人	838人	117. 7%

区分 \ 年度	H28年度	H27年度	前年度比
契約者数	1, 084人	905人	119. 8%
新契約者数	49人	36人	136. 1%
相談受付	77人	57人	135. 1%

4. 4. 3 訪問看護実績

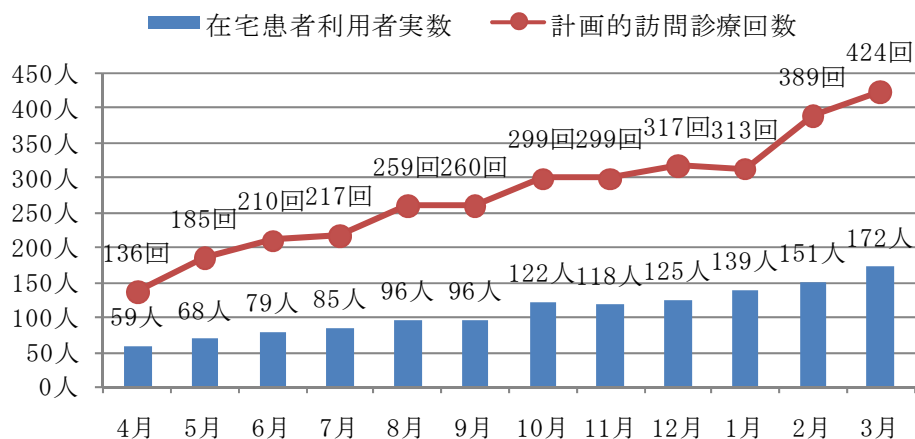
区分 \ 年度	H28年度	H27年度	前年度比
利用者実数	1, 867人	1, 703人	109. 6%
24時間緊急対応（予定外）	出勤 610人	435人	190. 3%
	電話 218人	174人	
新規利用者数	153人	130人	117. 7%
終了者数(死亡を含む)	144人	99人	145. 5%
入所・入院者数	293人	211人	138. 9%
在宅看取り件数	60人	39人	153. 8%

区分 \ 年度	H28年度	H27年度	前年度比
訪問看護	介護保険 5, 129件	5, 221件	98. 2%
	医療保険 2, 959件	2, 535件	116. 7%
	小 計 8, 088件	7, 756件	104. 3%
訪問リハビリ	介護保険 1, 396件	1, 068件	130. 7%
	医療保険 1, 097件	698件	157. 2%
	小 計 2, 493件	1, 766件	141. 2%
合 計	10, 581件	9, 522件	111. 1%

4.4.4 訪問診療実績

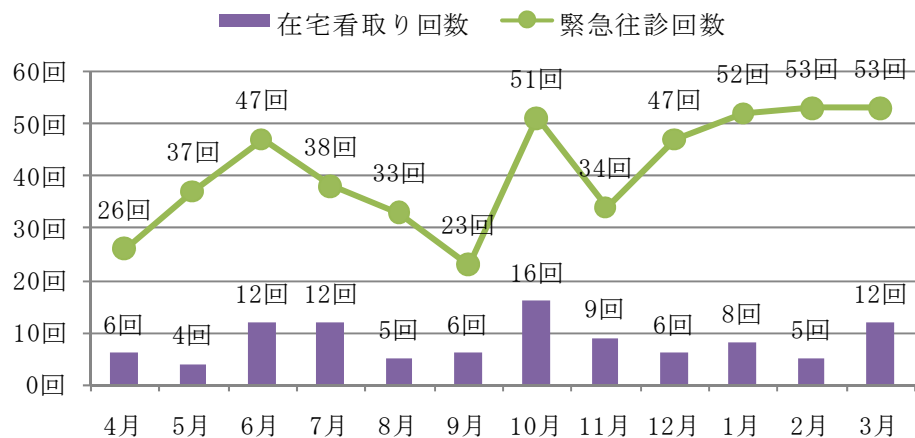
区分 \ 年度	H28年度	H27年度	前年度比
訪問診療件数	3,308回	1,220回	271.1%

利用者実数と訪問診療回数



訪問回数 : 年間 3,308 回

緊急往診と看取り回数



緊急往診 : 年間 494 回

在宅看取 : 年間 101 回

4.5 部門実績

4.5.1 医療安全管理部門

＜職種別アクシデント・インシデント件数＞

職種	アクシデント件数		インシデント件数	
	H28 年度	H27 年度	H28 年度	H27 年度
医師	0 件	0 件	0 件	1 件
看護師	1 件	0 件	583 件	563 件
薬剤師	0 件	0 件	23 件	29 件
技師等	0 件	0 件	158 件	292 件
事務職員	0 件	0 件	5 件	1 件
その他	0 件	0 件	0 件	0 件
合 計	1 件	0 件	769 件	886 件

＜内容別アクシデント・インシデント件数＞

内容	アクシデント件数		インシデント件数	
	H28 年度	H27 年度	H28 年度	H27 年度
薬剤	0 件	0 件	271 件	257 件
輸血	0 件	0 件	0 件	0 件
治療・処置	0 件	0 件	11 件	8 件
医療機器等	0 件	0 件	4 件	10 件
ドレーン	0 件	0 件	124 件	91 件
検査	0 件	0 件	66 件	60 件
治療上の世話	1 件	0 件	237 件	417 件
その他	0 件	0 件	56 件	43 件
合 計	1 件	0 件	769 件	886 件

＜内容別アクシデント・インシデント発生比率＞

内容比率 (%)	H28 年度	H27 年度	※日本医療機能評価
薬剤	35.2%	36.7%	30.0%
輸血	0%	0%	0.4%
治療・処置	1.4%	1.1%	5.5%
医療機器等	0.5%	1.4%	3.2%
ドレーン	16.1%	13.0%	10.1%
検査	8.6%	8.6%	8.8%
治療上の世話	30.9%	33.0%	25.0%
その他	7.3%	6.2%	17.0%

※日本医療機能評価

平成 27 年度病床規模別発生件数報告（病床数が 100～199 床の医療機関）における発生比率

4.5.2 感染管理部門

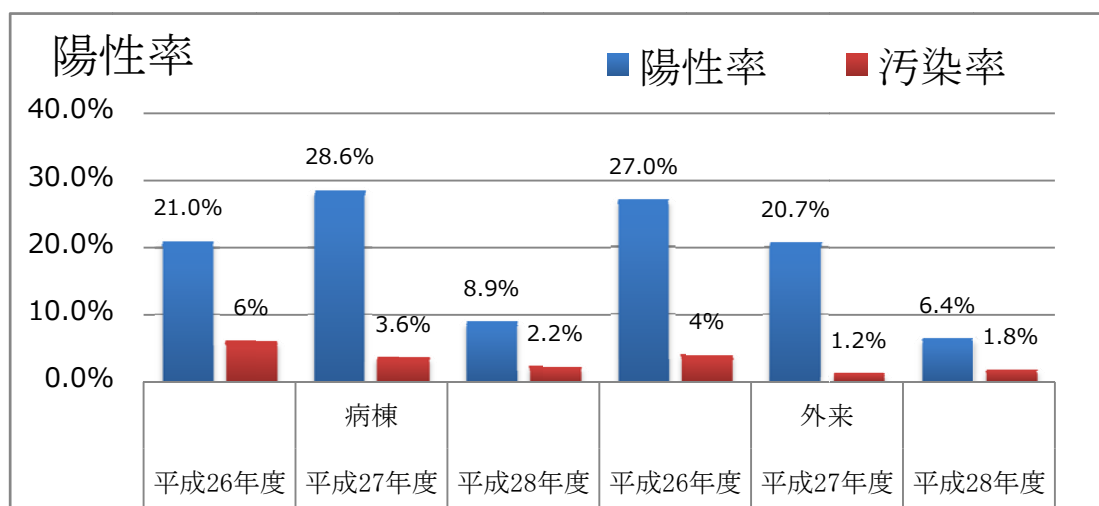
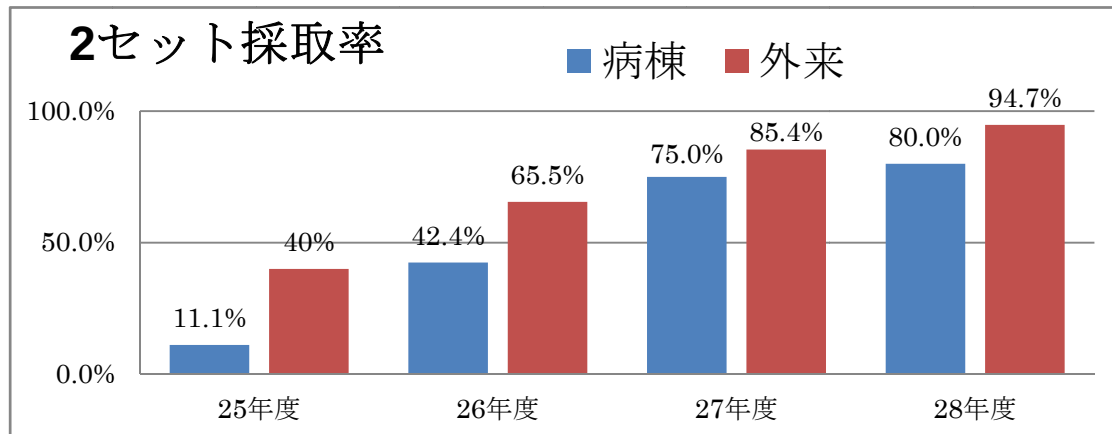
＜薬剤耐性菌サーベイランスの発生件数＞

内容	H28 年度	H27 年度	H26 年度
メチシリン耐性菌黄色ブドウ球菌 (MRSA)	56 件	38 件	45 件
バンコマイシン耐性陽球菌 (VRE)	0 件	0 件	0 件
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	0 件	0 件	0 件
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	0 件	0 件	0 件
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	0 件	0 件	0 件
多剤耐性アシネトバクタ属 (MDRA)	0 件	0 件	0 件
基質特異性拡張型 β ラクタマーゼ (ESBLs)	60 件	23 件	11 件
β ラクタマーゼ陰性 ABCP 耐性インフルエンザ菌 (BLNAR)	4 件	1 件	1 件
メタロ β ラクタマーゼ産生菌	0 件	0 件	0 件
カルバペネム耐性腸内細菌 (CRE)	0 件	0 件	1 件
その他	0 件	0 件	0 件
合 計	120 件	62 件	58 件

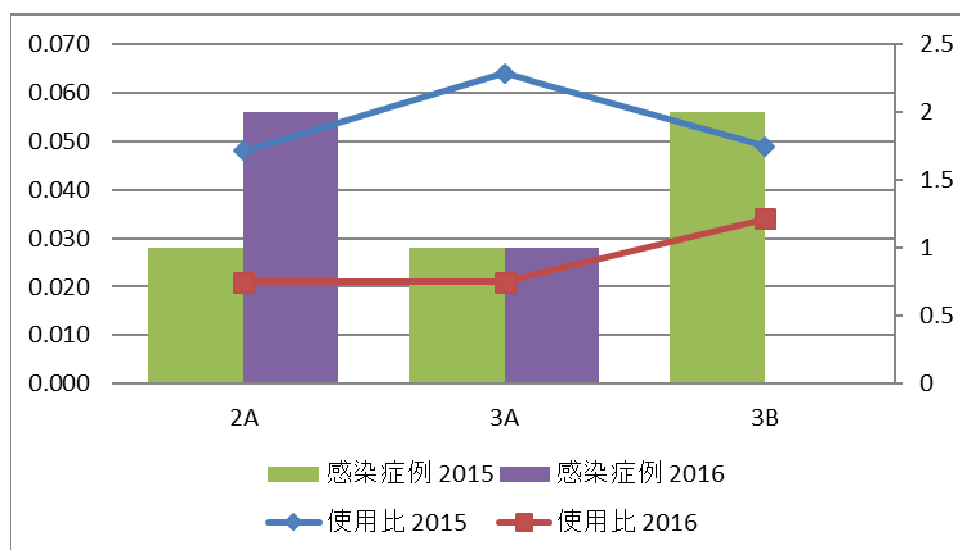
- ・厚生労働省サーベイランス事業（全入院部門・検査部門）に参加。

＜血液培養検査状況＞

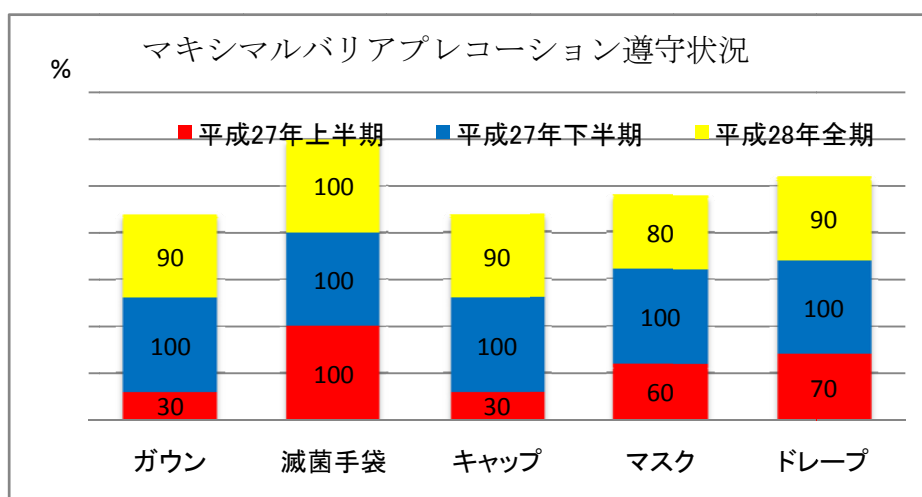
- ・血液培養検査の2セット採取を推奨している。
- ・依頼件数増加により陽性率は低下した。



< 中心ライン使用率と感染症例の年度比較 >



- ・ 中心ライン使用率が下がってきている。平成 28 年度は 3 件の感染症例があったが、全て上半期の発生であった。当院で新規に挿入される件数は前年の半数になった。特に、28 年度下半期は 2 例であった。



- ・ マキシマルバリアプレコーションの遵守は、平成 27 年度下半期に 100%となったが、平成 28 年度上半期にやや下がり、下半期は 2 例であったが遵守できていた。

4.5.3 診療部門

<主な入院指導・管理件数>

内容	H28 年度	H27 年度
救急医療管理加算	2,267 件	1,647 件
在宅患者緊急入院診療加算	2 件	4 件
難病患者等入院診療加算	690 件	875 件
退院支援加算※	245 件	137 件
地域連携診療計画加算※	61 件	103 件
介護支援連携指導料	85 件	3 件
退院時共同指導料	67 件	25 件

※ H28 年度診療報酬改定により、名称・定義変更あり

(H28)「退院支援加算」→(H27)「退院調整加算 1」及び「退院調整加算 2」

(H28)「地域連携診療計画加算」→(H27)「地域連携診療計画退院時指導料」

<主な外来指導・管理件数>

内容	H28 年度	H27 年度
特定疾患療養管理料	7,902 件	7,967 件
難病外来指導管理料	360 件	348 件
夜間休日救急搬送医学管理料	556 件	434 件

<時間外・救急件数>

内容	H28 年度	H27 年度
救急車搬入数	1,115 件	1,122 件
救急車転送患者数	195 件	177 件
時間外・救急入院患者数	243 件	238 件

<特別療養老人ホーム等施設からの患者受入件数>

内容	H28 年度	H27 年度
入院治療（施設→入院）	219 件	186 件
外来治療（施設→外来→施設）	168 件	155 件
高度医療機関転送（施設→外来→転送）	36 件	27 件

<栄養指導件数>

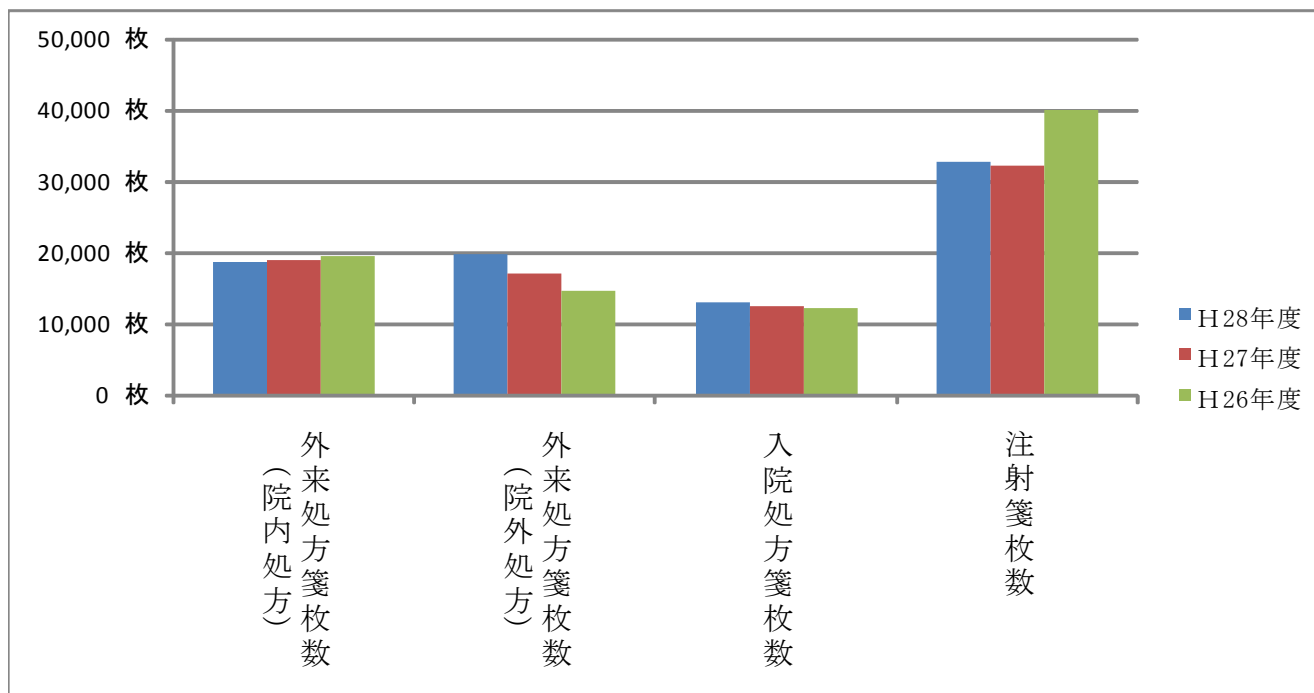
内容	H28 年度	H27 年度
外来栄養食事指導料	724 件	599 件
入院栄養食事指導料	115 件	47 件

※ 算定件数を計上

4.5.4 薬剤部門

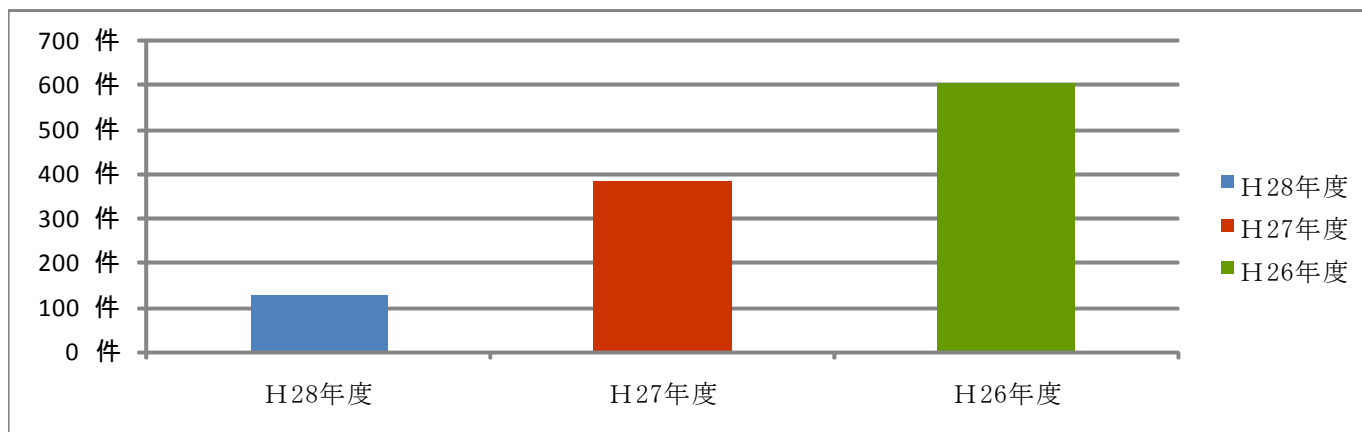
＜処方箋枚数＞

処方箋枚数	H28年度	H27年度	H26年度
外来処方箋枚数（院内処方）	18,521 枚	18,927 枚	19,551 枚
外来処方箋枚数（院外処方）	19,657 枚	16,921 枚	14,693 枚
入院処方箋枚数	12,964 枚	12,431 枚	12,086 枚
注射箋枚数	32,620 枚	32,162 枚	40,120 枚



＜薬剤指導管理件数＞

薬剤管理指導件数	H28年度	H27年度	H26年度
薬剤管理指導料 退院時薬剤情報管理指導料	124 件	382 件	602 件



・経年比較をすると当院の傾向は高齢者の末梢看取り入院患者が増加し薬物治療が減少傾向にあり、服薬指導が減少している。

4.5.5 診療放射線部門

＜撮影件数＞

内 容		H 28 年度	H 27 年度	H 26 年度
一 般 撮 影		66,101件	65,719件	64,279件
X 線 T V	注 腸	14件	33件	41件
	U G I	25,393件	25,830件	25,615件
	そ の 他	64件	103件	149件
乳 房 X 線 撮 影		5,673件	5,775件	5,719件
C T 検 査	頭 部	1,163件	1,217件	1,051件
	軀 幹	3,108件	3,209件	3,078件
	四 肢	49件	31件	25件
M R I 検 査	頭 部	1,975件	2,004件	2,062件
	軀 幹	554件	575件	626件
	四 肢	115件	117件	153件
骨 密 度 検 査		3,122件	3,247件	3,251件
パ ノ ラ マ 撮 影 (歯 科)		0件	3件	2件

4.5.6 臨床検査部門

＜検査件数（検体・細菌・病理）＞

内 容	H28 年度	H27 年度	H26 年度
生 化 ・ 免 疫 検 査	69,310 件	68,456 件	64,866 件
血 液 検 査	60,306 件	59,733 件	56,042 件
一 般 検 査	125,780 件	125,451 件	123,163 件
微 生 物 検 査	2,163 件	1,852 件	1,501 件
病 理 ・ 細 胞 診 検 査	11,661 件	11,615 件	11,430 件
循 環 機 能 検 査	68,552 件	69,620 件	68,182 件
呼 吸 機 能 検 査	10,468 件	10,961 件	10,909 件
超 音 波 検 査	18,235 件	18,364 件	17,643 件

4.5.7 手術部門

＜手術件数＞

領 域	内 容	H28年度		H27年度
胃	胃全摘術	3件	7件	5件
	胃切除術	4件		
肝胆膵	腹腔鏡下胆嚢摘出術	2件	2件	7件
大腸	結腸切除術	5件	21件	22件
	直腸切除術	1件		
	ヘルニア根治術	12件		
	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	1件		
	直腸腫瘍摘出術	1件		
	腸吻合術	1件		
虫垂	虫垂切除術	4件	6件	2件
	腹腔鏡下虫垂切除術	2件		
その他消化管	腫瘍摘出術	5件	5件	1件
	胃瘻造設術	0件		
乳房	乳腺腫瘍摘出術	1件	1件	0件
骨折	観血的整復固定術	5件	9件	16件
	抜釘術	4件		
その他	皮下腫瘍摘出術	3件	7件	7件
	皮膚切開術	2件		
	I V Hポート抜去	1件		
	人工肛門造設術	1件		
合 計		58件		60件

4.5.8 リハビリテーション部門

<リハビリテーション件数>

(1) 診療種別

内 容		H28 年度	H27 年度	H26 年度
脳血管	理学療法	17,463 単位	18,474 単位	18,777 単位
	作業療法	14,552 単位	14,957 単位	15,533 単位
	言語療法	12,406 単位	13,071 単位	12,993 単位
	小計	44,421 単位	46,502 単位	47,303 単位
運動器 I	理学療法	25,483 単位	24,240 単位	25,395 単位
	作業療法	20,088 単位	17,445 単位	16,372 単位
	小計	45,571 単位	41,685 単位	41,767 単位
呼吸器	理学療法	531 単位	700 単位	184 単位
	作業療法	357 単位	473 単位	0 単位
	小計	888 単位	1,173 単位	184 単位
摂食嚥下	言語療法	1,788 単位	1,645 単位	1,482 単位
物忘れ	作業療法	576 単位	640 単位	592 単位
総合計単位数		93,244 単位	91,645 単位	91,328 単位
早期加算	理学療法	6,502 単位	5,657 単位	5,846 単位
	作業療法	5,544 単位	4,524 単位	3,986 単位
	言語療法	647 単位	677 単位	787 単位
	小計	12,693 単位	10,858 単位	10,619 単位

(2) 部門別

内 容		H28 年度	H27 年度	H26 年度
理学療法		43,477 単位	43,414 単位	44,356 単位
作業療法		35,573 単位	33,515 単位	32,497 単位
言語療法		14,204 単位	14,716 単位	14,475 単位
総合計単位数		93,254 単位	91,645 単位	91,328 単位

(3) 入院・外来別総合単位数

内 容		H28 年度	H27 年度	H26 年度
入院	入院単位数	90,966 単位	89,667 単位	89,042 単位
外来	外来単位数	2,288 単位	1,978 単位	2,286 単位
総合計単位数		93,254 単位	91,645 単位	91,328 単位

リハビリテーション科の総実施単位数は増加している。

外来については、外来リハビリテーション、物忘れ外来を実施している。

入院リハビリテーションは、回復期リハビリテーション病棟の患者様の中心に実施している。

回復期病棟の在宅復帰率は、84%と高い割合で在宅復帰されている。

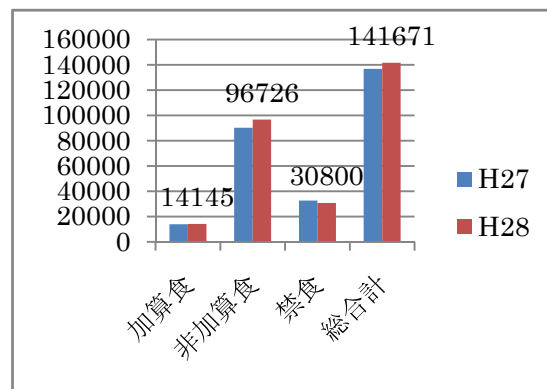
包括ケア病床、一般床、療養床についても、リハビリテーションを実施している。

外科の術後の患者様についても、主治医の指示のもと、術直後からリハビリテーションを実施している。

4.5.9 栄養管理部門

<患者食提供件数>

内 容	H28 年度	H27 年度
加算食	14,145 件	13,953 件
非加算食	96,726 件	90,252 件
禁食	30,800 件	32,595 件
総合計	141,671 件	136,800 件



<入院・外来栄養指導算定件数>

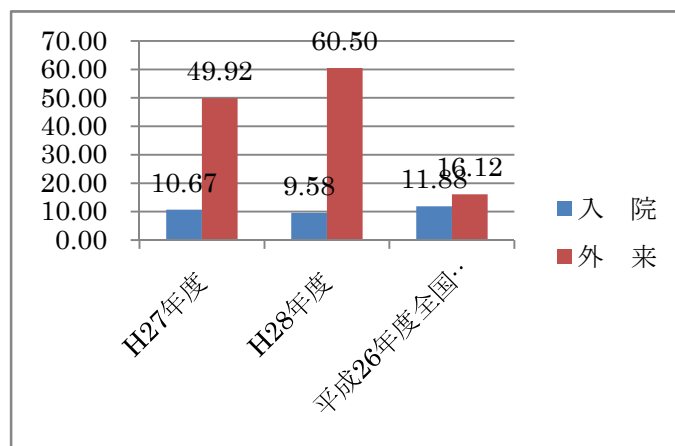
当院における1ヶ月の算定指導実績と全国調査の比較

内 容	H28 年度	H27 年度	全国平均 ※
入 院	9.58 件	10.67 件	11.88 件
外 来	60.50 件	49.92 件	16.12 件

※平成26年度全国病院栄養部門実態調査（病床別100～199床）より

*入院においては150床の内47床が包括病床（回復期リハビリ・地域包括）のため、実施よりも算定件数が少ない状況である。

*外来においては、健診後の治療開始時から食事療法の介入をしており、積極的な介入が来ている。



<訪問栄養指導件数>

1ヶ月の算定実績

内 容	H28 年度	H27 年度
訪問栄養指導	5.08 件	2.17 件

*訪問栄養指導は全国的な実施施設は全体の4.7%であり、今後も増加に向けて取り組んでいきたい。

5 委員会状況

5.1 委員会一覧

- 医事紛争処理委員会
- 倫理委員会
- 臨床研修委員会
- 医療安全管理委員会
- 院内感染対策委員会
- 診療実務委員会
- 健診運営委員会
- サービス向上委員会
- IT 委員会
- 診療報酬委員会
- 内視鏡室運営委員会
- 栄養管理委員会
- N S T 委員会
- 褥瘡防止対策委員会
- 薬事材料委員会
- 臨床検査適正化・輸血療法委員会
- 入退院判定会
- 医療ガス安全管理委員会
- 災害対策委員会
- 広報委員会
- 衛生委員会

5.2 主な委員会の活動報告

5.2.1 医療安全管理委員会

1) 委員会目的

当院における医療安全管理体制の確立、医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法等について、適切に医療安全管理を推進し、安全な医療の提供に資することを目的とする。委員会は毎月第4木曜日に開催する。

2) 会議内容

- ・インシデント事故報告、セーフティマネジメント部会、事故防止のための対策・改善、研修会計画、医療過誤情報等の定例内容をはじめ医療安全に関する内容

3) 主な活動内容

開催日	研修名	参加者
H28/ 4/ 4	新採用者医療安全管理オリエンテーション	新規採用者【20名】
H28/ 7/15	医療安全管理研修 看護部補助員	【補助職員10名】
H28/ 8/23	医療安全管理研修 看護部介護員	【介護職員10名】
H28/ 9/23	医療安全管理研修 看護部介護員	【介護職員10名】
H28/ 9/29	医薬品安全管理研修会	【全職員97名】
H28/11/ 7	医薬品安全管理研修会	【全職員70名】
H29/ 2/23	医療安全管理研修会	【全職員85名】
H29/ 3/ 8	院内安全フォーラム	【全職員220名】

●セーフティマネジメント部会WGより

①月別インシデントアクシデント発生件数推移（単位：件）

■説明

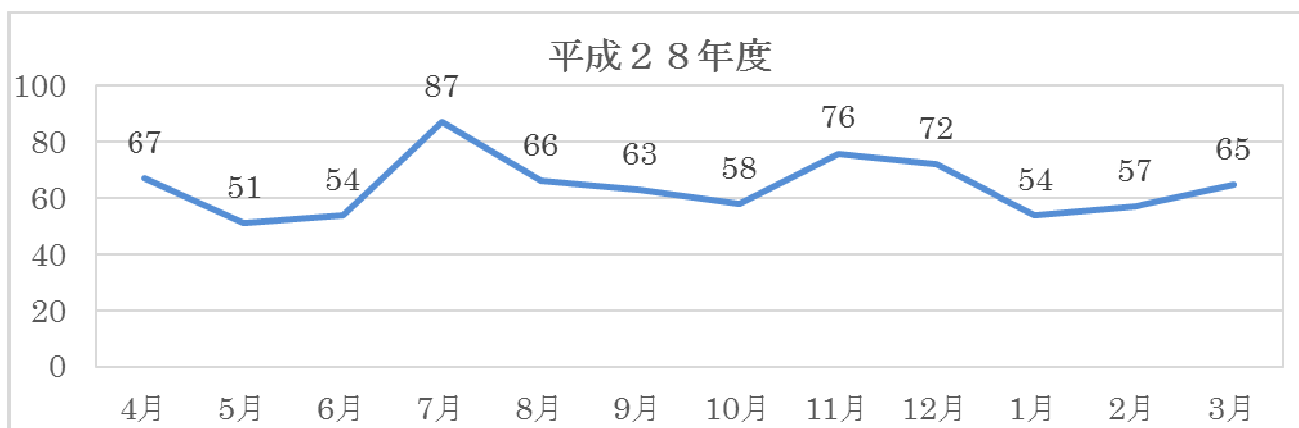
医療安全管理委員会はインシデント／アクシデントレポートとして報告された件数を毎月報告をしてその推移を調査しております、。この指標は、一般社団法人日本病院会 2013 医療安全に係わる報告書で比較ができます。

■定義

インシデントアクシデント各月の発生件数

■比較指標

一般社団法人日本病院会 2013 医療安全に係わる報告書より病床規模別、100床あたりのヒヤリ・ハット件数では、いずれの病床規模別においても37.6～42.5件



②転倒転落 発生率 (単位:‰)

■説明

病院に入院したにもかかわらず、ベッド周辺、歩行途中、トイレに行く戻りなど思わぬところで転倒 転落があります。医療安全管理委員会にインシデント／アクシデントレポートとして報告された件数をもとに、入院患者さん全体より転倒転落の報告がされた発生率を求めています。この指標は、一般社団法人日本病院会 2014 医療安全に係わる報告書で比較ができます。

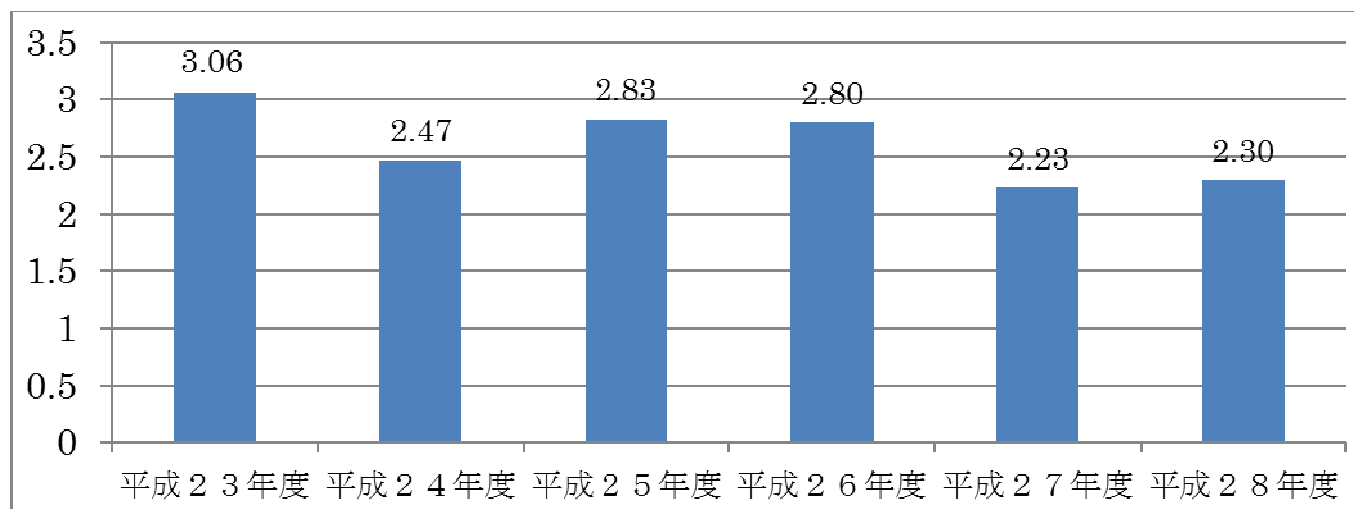
■定義

転倒・転落件数／入院患者延数

■比較指標

転倒転落発生率 2014 データー1 年間の平均は、平均値 2.81‰
(中央値 2.36‰)

2015 データー1 年間の平均は、平均値 2.64‰
(中央値 2.42‰)



5.2.2 院内感染対策委員会・ICT 委員会

1) 委員会目的

- 院内感染対策委員会：エイズ、MRSA、B 型肝炎及び結核などの院内感染予防対策を推進することを目的として毎月第 2 火曜日に開催する。
- ICT 委員会：院内感染防止のための調査・研究及び対策の確立に関し、迅速かつ機動的に活動することを目的として毎月第 1 火曜日に開催する。

2) 活動内容

< 院内感染対策委員会 >

定期開催 12 回開催。主に「感染症情報報告」「抗菌薬情報」「ICT 委員会報告」を行った。

- ・結核発生届 3 件提出。（8 月、1 月、3 月）
- ・職員の健康診断結果について検討（T-SPOT 検査、流行性ウイルス疾患抗体価検査）

< ICT 委員会 >

* 感染防止対策加算 *

- 中野胃腸科病院、北斗病院と感染防止対策加算 1、2 の連携活動を継続し、当院主催の合同カンファレンス（年 4 回）を開催した。また地域連携加算をトヨタ記念病院、豊田厚生病院と連携し、相互評価（平成 28 年度は豊田厚生病院による当院の院内ラウンド評価、トヨタ記念病院にて当院による院内ラウンド評価）を実施した。

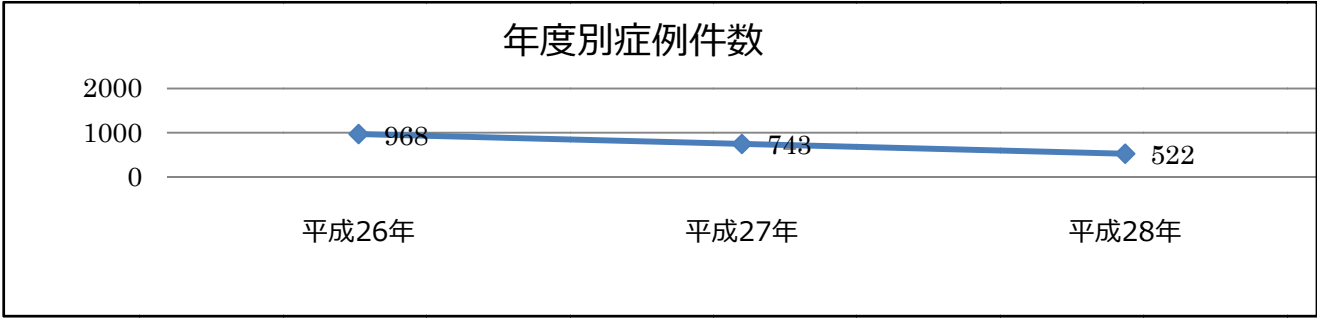
○感染防止対策加算 1、2 合同カンファレンス内容

第 1 回 (6 月 13 日)	第 2 回 (9 月 12 日)	第 3 回 (12 月 12 日)	第 4 回 (H29 年 3 月 12 日)
医療センター	北斗病院	中野胃腸病院	医療センター
1. サーベイランスデータの集計報告（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月）（豊田地域医療センター 松田、松井） 1) 手指擦式消毒剤の使用量報告 2) 抗菌薬サーベイランス報告 3) インフルエンザサーベイランスのまとめ 2. 手指衛生の勉強会（豊田地域医療センター 安田） 3. 多職種ミーティング	1. 北斗病院新棟見学会 2. 平成 26 年度細菌検査集計報告（平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月 豊田地域医療センター 成田） 3. 血管留置カテーテル挿入部位及び血液培養時の皮膚消毒について（豊田地域医療センター 松田） 4. 多職種ミーティング	1. 内視鏡の感染対策（中野胃腸病院 村上由美） 2. 2016～2017 インフルエンザについて（豊田地域医療センター ICN 松井・薬剤師 鈴木） 3. 多職種ミーティング	1. 2016～2017 インフルエンザの発生中間報告（豊田地域医療センター ICN 松井） 2. SSI と SSI サーベイランスについて（豊田地域医療センター 安田） 3. 来年度の活動予定 4. 廃棄物処理についての情報交換 5. 多職種ミーティング

○相互評価ラウンドの実施

	日程	実施病院	評価病院
1	H28 / 7 / 15	トヨタ記念病院	豊田地域医療センター
2	H28 / 11 / 18	豊田地域医療センター	豊田厚生病院

○抗菌薬症例カンファレンス
 <症例件数>



・年々検討数が少なくなっている。

○ICT ラウンド（チェックリストをもとに実施→指導→評価）

- ・環境ラウンド9回（薬剤部、検査科、リハビリテーション科、訪問看護科、放射線科）
- ・感染防止対策チームラウンド（急性期：1回／週、その他：（回）

3B 病棟	外来	3A 病棟	2A 病棟	2B 病棟	手術室	薬剤部	検査科	放射線科	合計
44	8	12	15	10	5	6	4	4	108

○医療安全フォーラムに参加。例年の「手指衛生」「N-95 マスクのフィットテスト」「ユニセフ募金活動」に加えて、「新型インフルエンザを想定した防護具の着脱訓練」を行った。

○活動内容の掲示

手指衛生前後の細菌培養結果



血液培養検査のまとめ



感染性廃棄物の廃棄量調査



感染性廃棄物処理費の年間推移



5.2.3 健診運営委員会

1) 委員会目的

院内及び院外の健診事業の運営調整に関することを目的として、毎月最終金曜日に開催する。

2) 会議内容

院内部会、院外部会、健診部会、高齢者健診検討部会、各科（課）から提出されてきた議題に対し、委員会で検討を行い、その結果を各部会および各科（課）にフィードバックし、健診基本方針に沿った健診事業が実施できるようにする。

開催日	会議内容
H28/04/22	・ 健診基本方針の内容確認について ・ 平成28年度人間ドックにおける健保・事業所取扱い変更点 ・ みよし市住民健診入札について ・ 岡崎医療刑務所の受刑者の健診について（見積入札） ・ 5月の健診医師予定について
H28/05/27	・ 胃部X線検査の下剤について ・ 豊田市職員ストレスチェック業務入札結果について ・ 東海オートメーションの産業医契約について ・ 6月の健診医師予定について
H28/06/23	・ 人間ドック上部内視鏡検査枠について ・ 高齢者健診部会からの報告 ・ 新規事業「ストレスチェック」の現状報告 ・ 7月の健診医師予定について
H28/07/29	・ 名古屋刑務所定期健康診断（職員）の入札結果について ・ 医師の病気休暇に伴う、胃部X線読影医の変更について ・ 年末（12/28）・年始（1/4）の健診実施について ・ 8月の健診医師予定について
H28/08/26	・ 土曜日の人間ドック後日面接について（担当医師の退職） ・ 4月～7月人間ドック受診者のリピート率について ・ 9月の健診医師予定について
H28/09/30	・ 土曜日の人間ドック後日面接について（担当医師の退職） ・ 10月の健診医師予定について ・ 健診部会からの報告
H28/10/28	・ 人間ドック健診施設機能評価更新のための当日面接の実施について ・ 豊田市特定健診・がん検診予約空き状況 ・ 今年度上半期の子宮頸がん・乳がん検査受診実績について ・ 11月の健診医師予定について
H28/11/25	・ 人間ドック健診施設機能評価更新のための当日面接の実施について ・ 12月の健診医師予定について
H28/12/21	・ 胃部X線検査の下剤について ・ 1月の健診医師予定について
H29/01/28	・ 平成29年度愛知県立学校定期健康診断における入札について ・ 職員家族・友人等への人間ドック受診PR文（1月～3月の閑散期料金）の配布について ・ 平成29年度豊田市国保特定健診・がん検診等の変更点 ・ 2月の健診医師予定について
H29/02/24	・ 平成29年度愛知県立学校定期健康診断における入札結果について ・ 平成29年度健診事業課予算について ・ 病院方針アクションプラン検討ワーキングからの報告（中間） ・ CT、MRI機器保守点検に伴う停止日（案）について ・ 3月の健診医師予定について
H29/03/31	・ 平成29年度新規健診コース及びオプション検査について ・ 新規健診コース「動脈硬化ドック」 ・ 新規オプション検査「内臓脂肪CT検査」・「甲状腺ホルモン検査（FT3・FT4・TSH）」・「small dense LDL」 ・ 胃の健康度（ABC分類）におけるH.ピロリ抗体検査の判定基準の変更について ・ 平成29年度人間ドックにおける健保・事業所取扱い変更点 ・ 4月の健診医師予定について

5.2.4 サービス向上委員会

1) 委員会目的

患者さまに良質で快適な医療を提供することを目的として、毎月第4火曜日に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H28/ 4/26	意見・苦情等投書に対する検討
H28/ 5/17	意見・苦情等投書に対する検討
H28/ 6/28	意見・苦情等投書に対する検討、あいさつ運動実施後の反省、患者満足度調査結果の報告
H28/ 7/26	意見・苦情等投書に対する検討
H28/ 8/23	意見・苦情等投書に対する検討
H28/ 9/27	意見・苦情等投書に対する検討
H28/10/25	意見・苦情等投書に対する検討、外来待ち時間調査結果の報告
H28/11/22	意見・苦情等投書に対する検討
H28/12/27	意見・苦情等投書に対する検討、あいさつ運動実施後の反省
H29/ 1/24	意見・苦情等投書に対する検討、健診受診者満足度調査結果の報告
H29/ 2/28	意見・苦情等投書に対する検討、きらり賞（皆様の声報奨制度）の選考
H29/ 3/29	意見・苦情等投書に対する検討、健診受診者満足度調査分析結果報告

3) 主な活動内容

- ・ 病院ボランティア部会の実施（毎月第1月曜日）
- ・ あいさつ運動の実施（5月23日～27日、12月5日～9日）
- ・ 外来待ち時間調査（時間外：6月10日～12日・17日～19日、
昼 間：6月20日～25日）
- ・ 健診受診者満足度調査の実施（12月13日～19日）
- ・ 患者満足度調査の実施（2月20日～24日）
- ・ 外部講師招聘による接遇研修会の実施（3月15日）
「患者さま満足度アップを目指して～接遇の基本とビジネスマナー～」
- ・ 皆様の声報奨制度“きらり賞”の選考

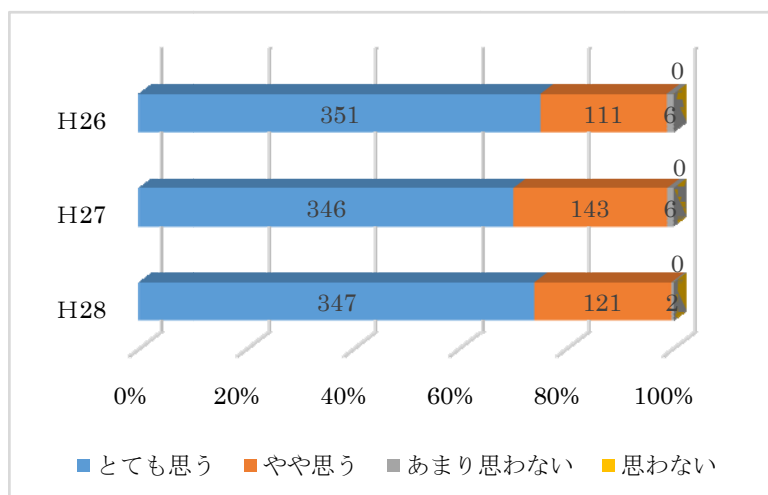
■皆様の声報奨制度“きらり賞”について

- ・ “きらり賞”は、日常業務において、患者・受診者等病院利用者への対応が優れており、他の模範となる個人又は部署（グループ）を表彰するものです。
- ・ 1年間（1月～12月）に寄せられた投書を対象として、次の選考基準に照らし合わせ功績がとくに著しいと認められるものをサービス向上委員会委員の投票により決定します。
- ・ 平成28年度は、感謝の投書を多くいただいた「外来（看護部）」を日頃の患者さま満足度の向上への取り組みが顕著であったとして“きらり賞”を授与し

ました。

■ 健診受診者満足度調査結果より

問) 今後もセンターを利用したいと思いませんか？

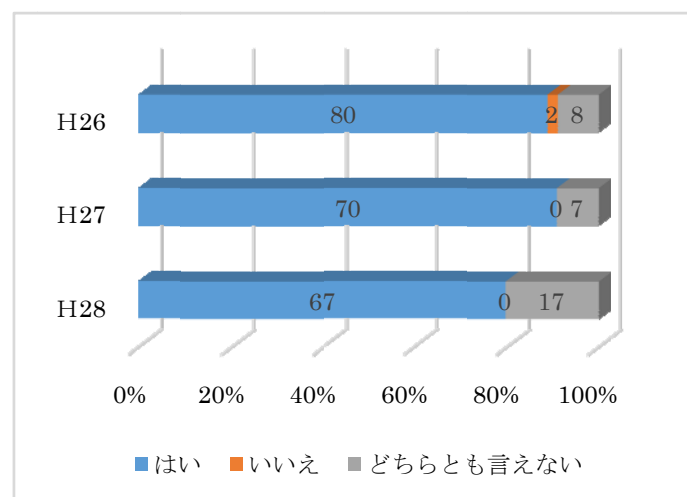
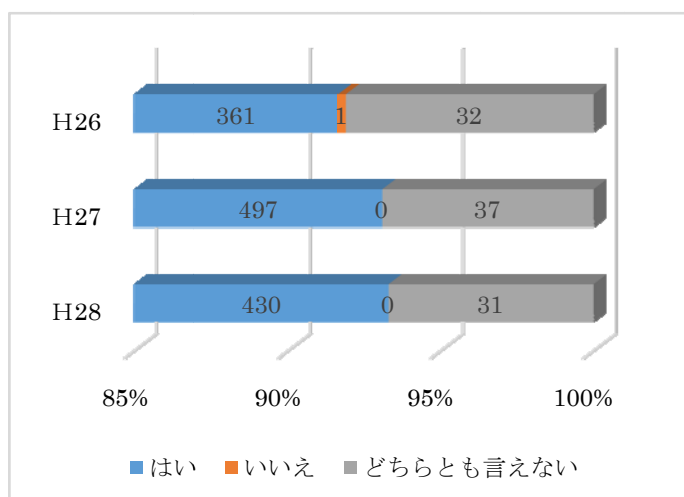


■ 患者満足度調査結果より

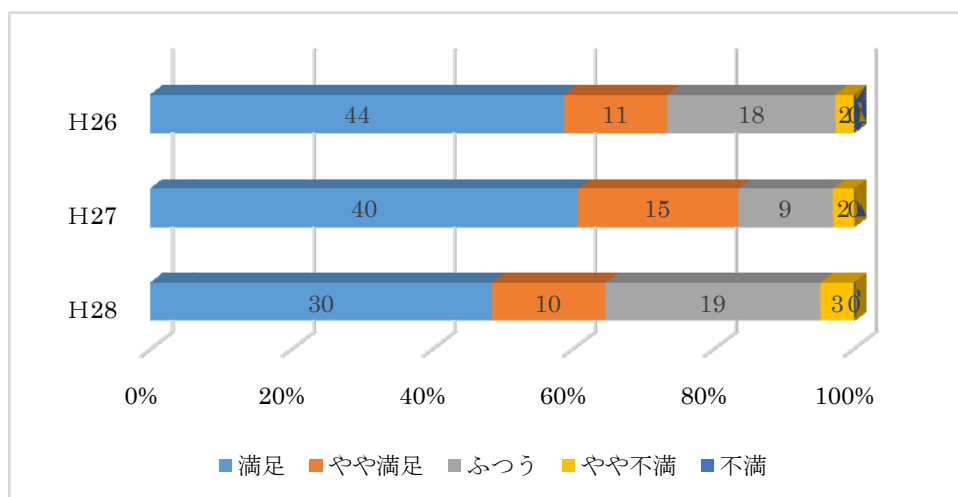
問) 今後もセンターを利用したいと思いませんか？

[外来]

[入院]



問) ナースコールへの対応



■ ボランティア部会より

活動種類	活動内容
外来補助	外来受付の案内、車いすの補助、入院時の補助 など
四季飾り	病棟展示スペースの飾り付け
散髪	入院患者の散髪
絵手紙	絵手紙教室「若宮会」による作品展示と体験教室
絵画展示	「アート葵」「田中和枝 氏」による作品展示
クリスマスコンサート	「ポコ ア ポコ」によるオカリナ演奏
クリスマスカードの配布	入院患者へクリスマスカードの配布

七夕飾り



ひな祭り飾り



絵手紙展示



散髪



クリスマスコンサート



カード配布



5.2.5 診療報酬委員会

1) 委員会目的

保険診療の請求について適正な執行、周知徹底を図ることを目的として、隔月1回定期的に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H28/05/26	平成28年2月・3月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
H28/07/28	平成28年4月・5月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
H28/09/29	平成28年6月・7月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
H28/11/24	平成28年8月・9月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
H29/01/26	平成28年10月・11月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
H29/03/23	平成28年12月・平成29年1月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡

3) 主な活動内容

- ・診療報酬の減点分析報告と対策を検討した。
- ・委員会での内容を各医師へ報告した。

4) 査定率比較 (平成28年1月～平成28年12月)

		愛知県	医療センター
H28年1月分	支払基金	0.30%	0.10%
	国保連合会	0.23%	0.02%
H28年2月分	支払基金	0.31%	0.00%
	国保連合会	0.23%	0.03%
H28年3月分	支払基金	0.30%	0.00%
	国保連合会	0.21%	0.00%
H28年4月分	支払基金	0.29%	0.03%
	国保連合会	0.27%	0.00%
H28年5月分	支払基金	0.26%	0.03%
	国保連合会	0.20%	0.04%
H28年6月分	支払基金	0.29%	0.26%
	国保連合会	0.21%	0.01%
H28年7月分	支払基金	0.31%	0.11%
	国保連合会	0.21%	0.02%
H28年8月分	支払基金	0.29%	0.10%
	国保連合会	0.25%	0.04%
H28年9月分	支払基金	0.31%	0.08%
	国保連合会	0.22%	0.63%
H28年10月分	支払基金	0.32%	-0.01%
	国保連合会	0.24%	0.03%
H28年11月分	支払基金	0.30%	0.08%
	国保連合会	0.23%	0.10%
H28年12月分	支払基金	0.28%	0.03%
	国保連合会	0.25%	0.03%

5.2.6 内視鏡室運営委員会

1) 委員会目的

「内視鏡の安全かつ効率的な運営」を目的として、奇数月第3木曜日に開催する。
また、内視鏡室運営に関わる問題が生じた場合は、随時委員会を開催し迅速に対応する。

2) 会議内容

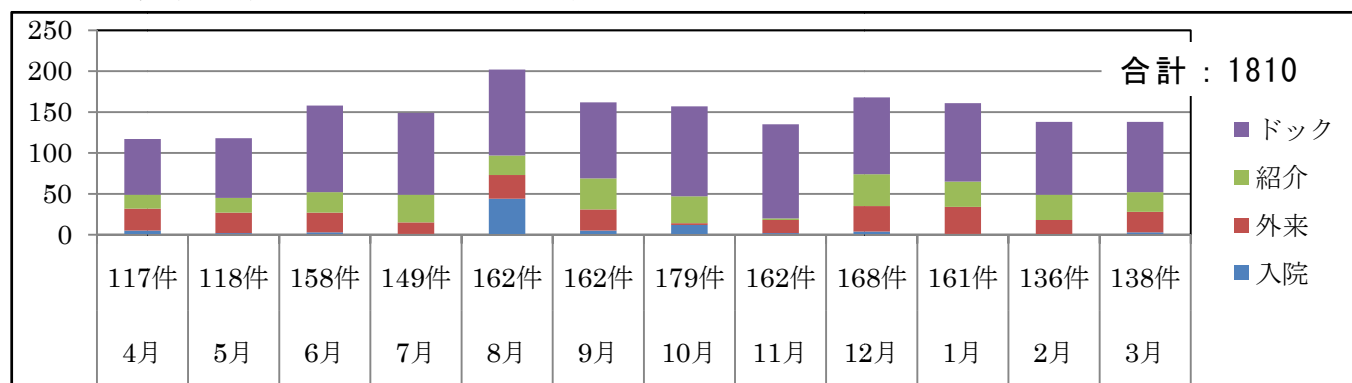
開催日	会議内容
H28/ 7/28	・ 検診センターからの提案について ・ スコープ新規購入と更新について ・ 曜日別検査件数の見直しについて

3) 主な活動内容

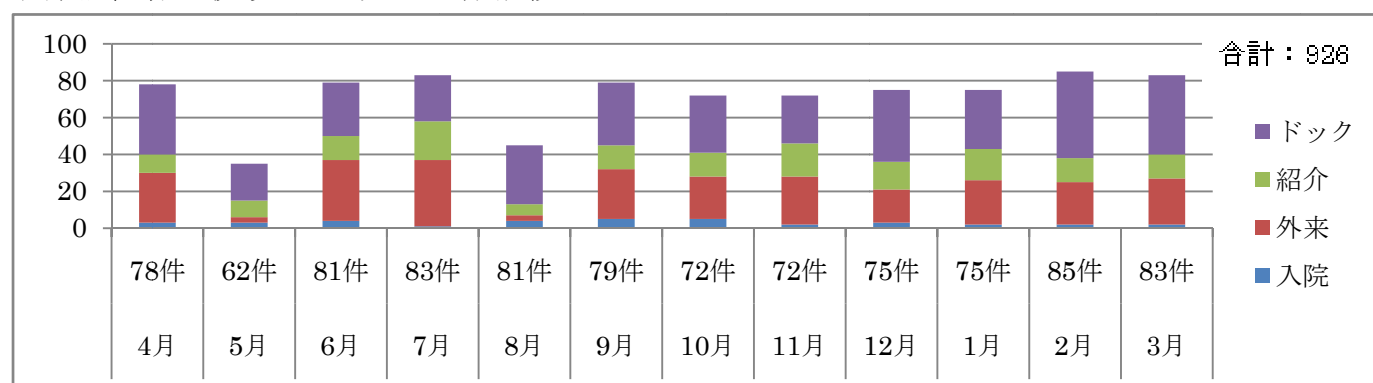
平成 28 年度 診療実績

内視鏡件数		特殊検査件数	
上部消化管内視鏡	1810 件	内視鏡的胃ろう造設術	3 件
（内訳）経口上部内視鏡	959 件	鎮痛・鎮静剤併用	4 件
経鼻上部内視鏡	851 件		
下部消化管内視鏡	926 件	内視鏡的大腸ポリリー除切除	304 件
		内視鏡的大腸粘膜切除術	56 件
		鎮痛・鎮静剤併用	36 件

上部消化管内視鏡月別・発生別推移



下部消化管内視鏡月別・発生別件推移



年齢構成別患者数

項目	年齢	件数
上部消化管内視鏡 1,810 件	0～14 才	0 件
	15～64 才	1,235 件
	65 才以上	575 件
下部消化管内視鏡 926 件	0～14 才	0 件
	15～64 才	490 件
	65 才以上	436 件

癌所見発見数とその後の経過

区分		件数
上部消化管内視鏡 21 件	医療センターで手術	6 件
	他病院へ紹介	15 件
下部消化管内視鏡 30 件	医療センターで手術	3 件
	他病院へ紹介	22 件
	6 か月後の経過観察	5 件

大腸内視鏡治療における偶発症発生率

区分	医療センター	全国平均
ポリペクトミー後出血	0.2% (2 件)	0.274%

※全国平均：日本消化器内視鏡学会「消化器内視鏡関連の偶発症に関する第 5 回全国調査報告」より

5.2.7 栄養管理委員会

1) 委員会目的

患者さまの栄養管理と適切な食事提供を目的として、隔月第3月曜日に開催する。

2) 活動実績

(1) 行事食

月 日	行事食名	月 日	行事食名	月 日	行事食名
4月 4日	お花見弁当	5月 5日	端午の節句	6月 6日	あじさい弁当
7月 7日	七夕	7月30日	土用の丑	8月19日	残暑見舞い
9月15日	十五夜	10月18日	行楽弁当	11月22日	紅葉弁当
12月24日	クリスマス	12月31日	大晦日	1月 1日	元旦
2月 3日	節分	3月 3日	ひま祭り		

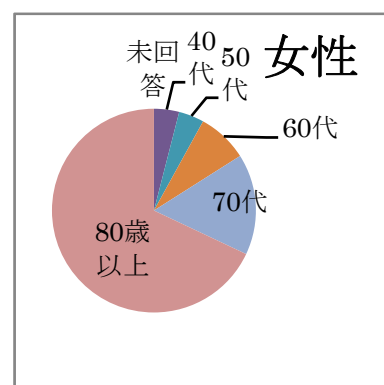
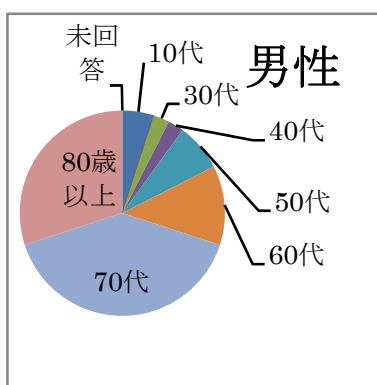
(2) 患者食満足度調査

実施日	内容	対象者
H28/ 5/16～20	無記名記入方式	71名 回答率 79%
H28/11/ 7～11	無記名記入方式	89名 回答率 73%

1. 調査期間 平成28年11月7日(月)～11日(金)
2. 方 法 無記名記入方式(但し、記入困難者は職員が聞き取り記入)
3. 結 果 次の通りです

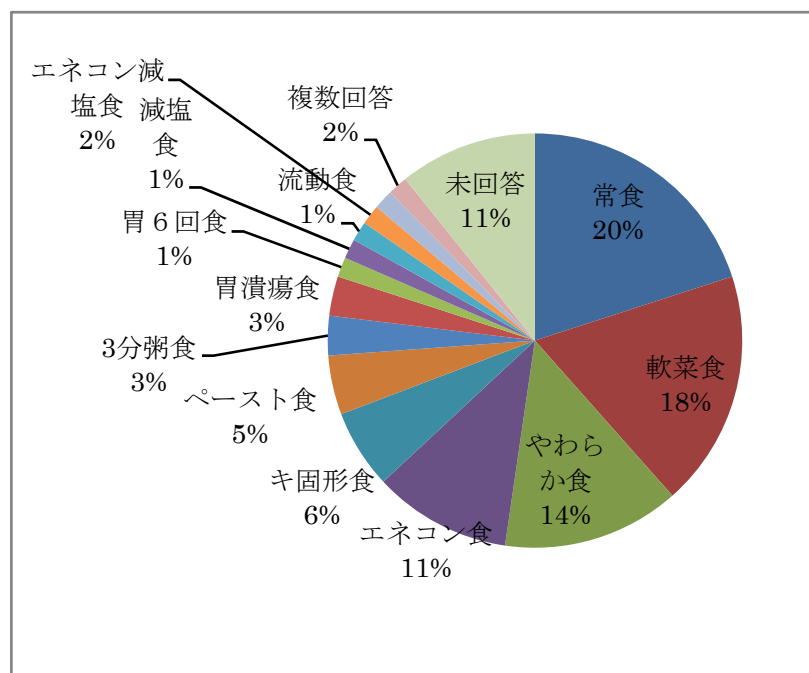
患者さま(年齢別)内訳 (人)

年 齢	男性	女性
	人数	人数
10代	2	0
20代	0	0
30代	1	0
40代	1	1
50代	3	1
60代	5	2
70代	16	4
80歳以上	12	17
合計	40	25



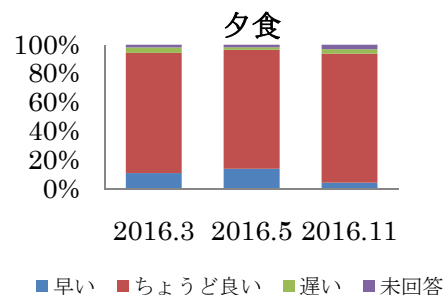
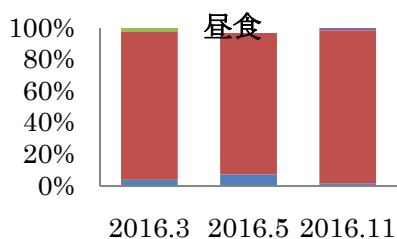
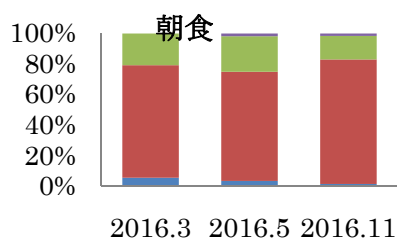
食種内訳 (人)

食種	人数
常食	13
軟菜食	12
やわらか食	9
エネコン食	7
キ固形食	4
ペースト食	3
3分粥食	2
胃潰瘍食	2
胃6回食	1
減塩食	1
エネコン減食	1
低残渣食	1
流動食	1
複数回答	1
未回答	7
合 計	65



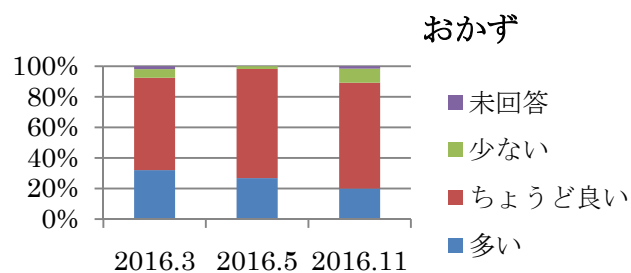
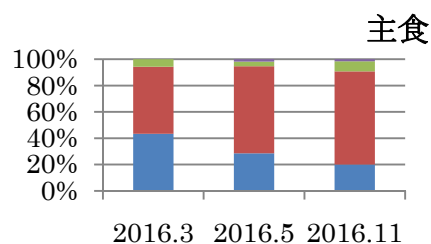
食事時間について (人)

	早い	ちょうど良い	遅い	未回答
朝食	1	53	10	1
昼食	1	63	0	1
夕食	3	58	2	2



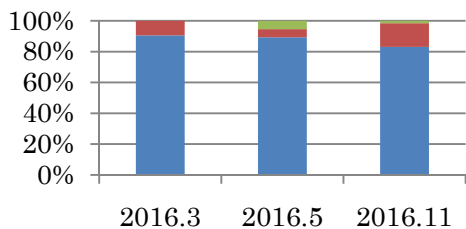
量について (人)

	多い	ちょうど良い	少ない	未回答
主食	13	46	5	1
おかず	13	45	6	1

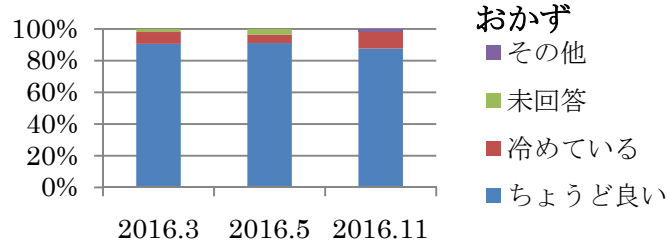


温度について（人）

	ちょうど良い	冷めている	未回答	その他
主食	54	10	1	0
おかず	57	7	0	1（両方）

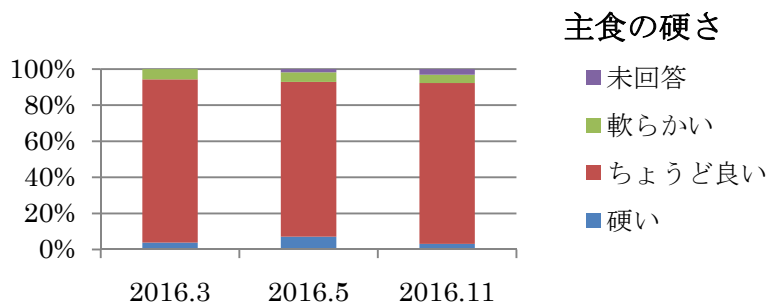


主食



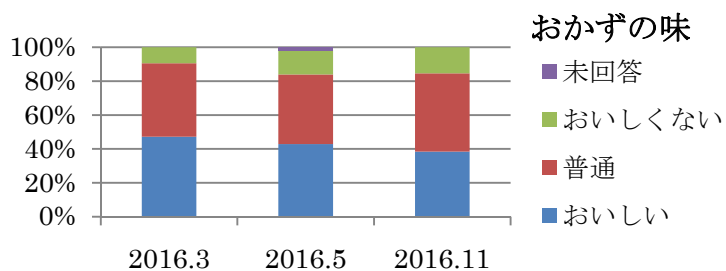
主食の硬さについて（人）

主食の硬さ	人数
硬い	2
ちょうど良い	58
軟らかい	3
未回答	2



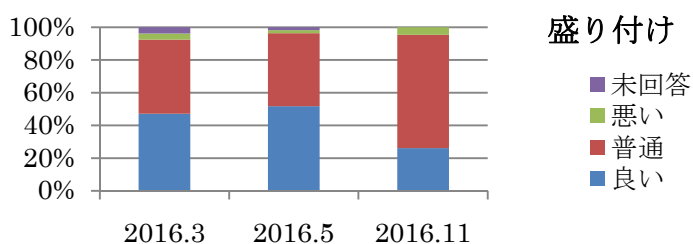
おかずの味について（人）

おかずの味	人数
おいしい	25
普通	30
おいしくない	10
未回答	0



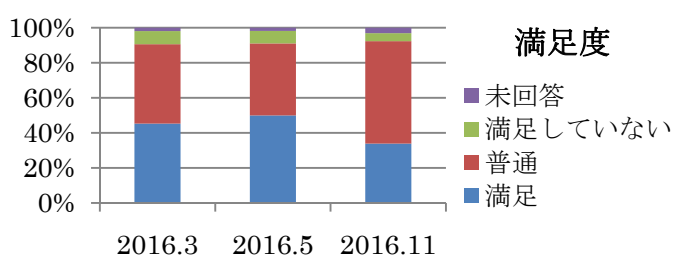
盛り付けについて（人）

盛り付け	人数
良い	17
普通	45
悪い	3
未回答	0



食事の満足について（人）

お食事の満足度	人数
満足	22
普通	38
満足していない	3
未回答	2



5.2.8 NST委員会

1) 委員会目的

栄養障害を生じている、又はそのリスクがある患者さまの栄養療法を支援することを目的として、隔月第2火曜日に開催する。

2) 活動内容

開催日	主な内容
H28/ 5/10	・ 現行のカンファレンス・回診方法についての評価・検討 ・ 活動報告 ・ 糖尿病用濃厚流動食の見直し・変更 ・ 栄養管理計画実施状況評価
H28/ 7/12	・ 活動報告 ・ 栄養管理計画実施状況評価
H28/ 9/13	・ 活動報告 ・ 栄養補助食品の見直しについて ・ 栄養管理計画実施状況評価
H28/11/ 8	・ 活動報告 ・ 栄養管理計画実施状況評価
H29/ 1/17	・ 活動報告 ・ 院内研修会について ・ 栄養管理計画実施状況評価
H29/ 3/14	・ 活動報告 ・ 院内研修会 実施報告 ・ 栄養管理計画実施状況評価

3) 活動実績

内容	介入症例数	1回診当りの症例数
NST	337 件	10.6 件
嚥下チーム	20 件	

4) 院内研修会

①開催日：平成 29 年 2 月 17 日

②テーマ：「在宅医療と高齢者の栄養」

③講師：豊田市・藤田保健衛生大学 連携地域医療学寄付講座
教授 浅井 幹一

④参加者 69 名

＊参加者が昨年と比較し 150%であり、在宅医療の重要性が認識されている結果となった

5.2.9 褥瘡防止対策委員会

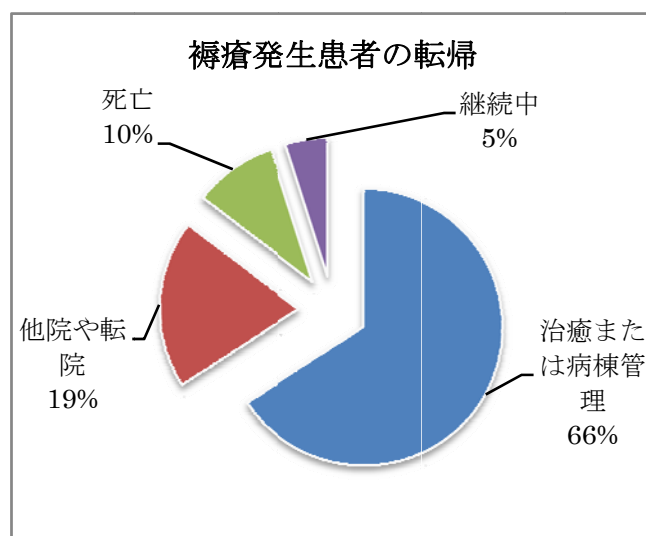
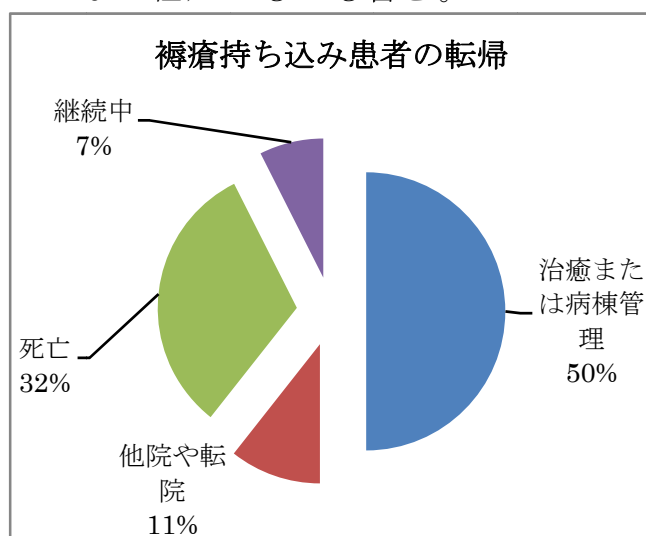
1) 委員会目的

豊田地域医療センターにおける院内褥瘡防止を推進することを目的として、年 4 回定期的に開催する。

2) 活動内容

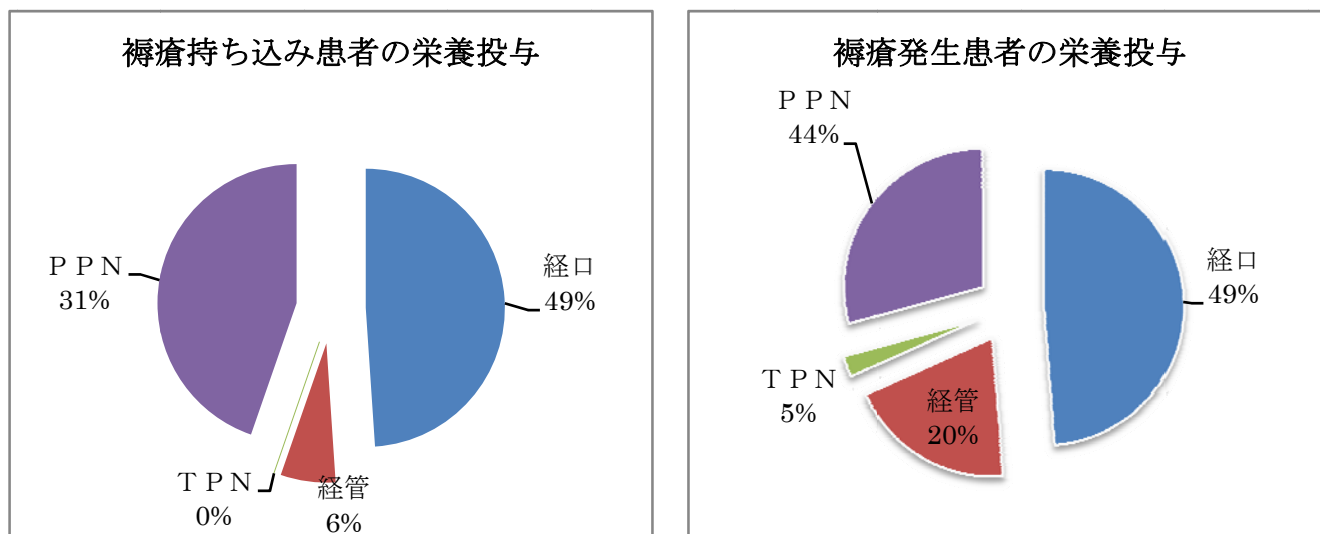
委員会開催日	会議内容
H28/ 4/25	委員会及び要綱の確認
	平成 27 年度褥瘡院内発生・持ち込み状況
	褥瘡防止対策委員会主催の研修会について
H28/ 7/25	褥瘡防止対策委員会主催の研修会について
H28/10/17	褥瘡防止対策委員会主催の研修会について
H29/ 1/23	褥瘡防止対策委員会主催の研修会報告
	2016 年日本褥瘡学会報告

- ・チームでの褥瘡回診を、毎月曜日に実施（重症例は木曜日にも医師のみで介入）した。
- ・平成 28 年度は、回診を計 46 回行い、介入患者数は 135 名、のべ 459 回の回診を行った。
- ・1 回あたりの平均介入患者数は 9.98 人、一人あたりの平均介入回数は 3.4 回であった。
- ・他院または、外来入院からの持ち込みの褥瘡は 90 件、院内での発生は 41 件あり、褥瘡以外の創傷も 4 件あった。
- ・平均介入回数は、褥瘡持ち込みが 5.0 回、発生は 2.1 回であり、院内での発生事例では短期間で改善したものが多かった。
- ・褥瘡持ち込み患者の転帰、発生患者の転帰は、以下のグラフのとおりである。
- ・転帰のうち、治癒または病棟管理レベルは、Ⅰ度～Ⅱ度で感染や浸出液もほとんどない軽症のものも含む。



- ・褥瘡持ち込み患者の栄養投与、褥瘡発生患者の栄養投与は、以下のグラフのとおりである。

T P Nは、中心静脈栄養による高カロリー輸液を示す。P P Nは、末梢静脈栄養を示す。



- ・褥瘡発生患者の41名のうち、直近のデータのある39名の血中アルブミン値は、平均2.73 g / d lであった。
- ・全身の栄養状態が悪く、末梢点滴のみの事例では、感染予防を最優先した。死亡例の中に、褥瘡の感染によるものは一例もなかった。
- ・褥瘡防止対策委員会主催の研修会として、「褥瘡予防・管理ガイドライン」の表題で、平成28年10月17日（月）17：30～18：30に開催した。参加者は46名、写真やイラスト実技演習があり、今後に活用できるという意見があり、満足度の高い研修であった。

5.2.10 薬事材料委員会

1) 委員会目的

豊田地域医療センターにおける使用薬品・材料の評価及び新規採用の検討を行うことにより、的確な治療法の確保、最大限の治療効果及び効率的な医薬品・材料の使用を推進することを目的として、隔月第1金曜日に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H28/ 4/8	・ 医薬品情報、新規採用医薬品・診療材料について
H28/ 6/3	・ 医薬品情報について
H28/ 8/5	・ 医薬品情報、診療材料について
H28/10/7	・ 医薬品情報、診療材料について
H28/12/2	・ 医薬品情報、新規採用医薬品について
H29/ 2/3	・ 医薬品情報、新規採用医薬品について

3) 主な活動内容

- ・ 医薬品の新規採用の検討、採用削除品目の検討
(平成28年度採用品目2品目、削除品目9品目)
- ・ 採用医薬品を後発医薬品に4品目変更し後発医薬品使用量割合70%以上に
- ・ 医薬品販売品名・剤形変更についての報告(8件)
- ・ 医薬品販売中止品目の対応検討(5件)
- ・ 診療材料の採用等の検討(3件)

5.2.11 臨床検査適正化・輸血療法委員会

1) 委員会目的

臨床検査の精度向上に関する活動を行うこと及び輸血療法を安全で適正に行うことを目的として、偶数月第3水曜日に開催する。

2) 活動内容

血液製剤の使用が適切であるかを審議し、使用件数の報告を行っている。

輸血製剤		H28年度	H27年度	H26年度
RBC		16件	18件	24件
	破棄	2件	3件	2件
FFP		0件	0件	0件
	破棄	0件	0件	0件
アルブミン		4件	7件	6件
	破棄	0件	0件	1件

年4回実施される精度管理調査報告により、臨床検査の精度を評価している。

精度管理実施団体	参加 施設数	評価 対象数	評価 A+B		評価 C		評価 D	
			件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
(1) 日本臨床衛生検査技師会	3,200	162	161	99.4	0	0	1	0.6
(2) 愛知県臨床検査技師会	110	162	162	100	0	0	0	0
(3) 日本医師会	3,100	85	85	100	0	0	0	0
(4) 全国労働衛生団体連合会	300	82	81	98.8	1	1.2	0	0

・ A、B、C、D 評価は目標値±で評価を行っている。

・ 評価 A もしくは評価 B となることが望ましい。

・ 評価対象分野

- (1) 臨床化学、免疫血清、微生物、血液、細胞、一般、生理、輸血
- (2) 臨床化学、免疫血清、微生物、血液、細胞、一般、生理、輸血
- (3) 臨床化学、免疫血清、血液、尿一般
- (4) 臨床化学、血液、尿一般

5.2.12 入退院判定会

1) 委員会目的

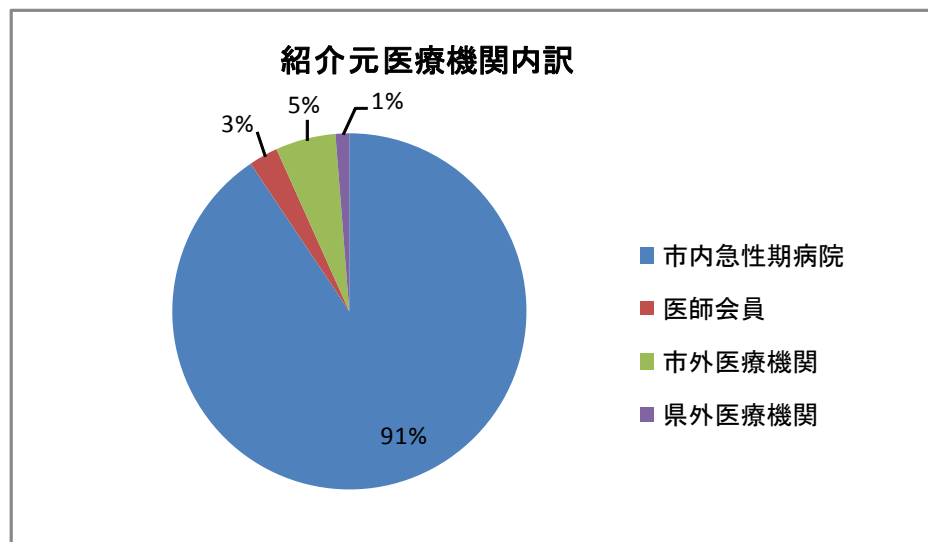
適切な受け入れと円滑な入退院調整、療養病棟への継続入院の検討を目的として、毎週火曜日に開催する。

2) 会議内容

- ・入退院判定会の構成委員は医師、看護職、MSWである。
- ・入退院判定会の受入れマニュアルに準じて、各職種の専門性を活かし、ケース検討を行っている。
- ・病棟稼働率、入院調整状況を共有している。
- ・長期入院患者の把握と退院困難ケースの現状と今後の方向性の検討を実施している。

3) 活動内容

開催日	会議内容
H28/ 4 4回	・ 検討 54件
H28/ 5 3回	・ 検討 49件
H28/ 6 5回	・ 検討 44件
H28/ 7 4回	・ 検討 47件
H28/ 8 4回	・ 検討 49件
H28/ 9 5回	・ 検討 42件
H28/10 4回	・ 検討 60件
H28/11 4回	・ 検討 50件
H28/12 4回	・ 検討 39件
H29/ 1 4回	・ 検討 77件
H29/ 2 4回	・ 検討 78件
H29/ 3 5回	・ 検討 51件



- ・検討ケースは市内急性期病院からの紹介が91%であった。
それ以外は医師会員、市外、県外の医療機関からの紹介であった。
- ・受入れ率は99.2%であった。

5.2.13 災害対策委員会

1) 委員会目的

災害の予防、防止及び災害発生時の災害復旧を早急に行なわせ、人命の安全、財産の保全につとめることを目的として、毎月第1金曜日に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H28/ 4/ 8	・平成28年度委員会新委員について ・平成28年度 防災訓練の予定について ・防災備品及び非常食について（購入品目の検討） ・平成27年度購入の防災備品及び非常食の報告について
H28/ 5/6	・防災備品及び非常食について（購入品目の検討） ・第1回防災訓練について
H28/ 6/ 3	・第1回防災訓練について ・非常食（カロリーメイト）の配布報告について ・非常食保管場所変更の報告について
H28/ 7/ 1	・第1回防災訓練について ・防災備品及び非常食（ごはんの食べられない人用）について（購入品目の検討）
H28/ 8/ 5	・第1回防災訓練について ・非常食の購入品目決定について ・防災備品の豊田市役所及び近隣医療機関の調査報告について ・豊田市医療救護計画の後方医療機関及び後方拠点医療機関について
H28/ 9/ 2	・第1回防災訓練について ・防災備品の調査報告について
H28/10/ 7	・防災備品について（購入品目の検討） ・第1回防災訓練の振り返りについて①
H28/11/ 4	・第1回防災訓練の振り返りについて② ・防災備品の購入品目決定について① ・第2回防災訓練について・
H28/12/2	・第2回防災訓練について ・エアーストレッチャー講習会実施について ・防災備品の購入品目決定について② ・非常食（サバイバルパン）の配布について
H29/ 1/ 6	・第2回防災訓練について ・エアーストレッチャー講習会について
H29/ 2/ 3	・第2回防災訓練について ・エアーストレッチャー講習会について ・防災備品（ヘルメット）について
H29/ 3/10	・第2回防災訓練の振り返りについて ・放水訓練実施報告について

3) 主な活動内容

- ・ 第1回防災訓練（10月6日（金）14時～）

震度6弱の地震が発生。負傷者多数あり。トリアージセンターを開設し、負傷者の救出と応急処置を行う。厨房から出火したため初期消火と入院患者の避難誘導を行った。訓練後、中棟2階廊下の屋内消火栓から屋外へ向けての放水訓練を実施した。（模擬勤務者延べ59人、模擬患者15人）

- ・ エアーストレッチャー講習会（2月8日（水））

日本エアーストレッチャー㈱から講師（1名）を招き、エアーストレッチャーの基本操作を学んだ。30名の参加あり。

- ・ 第2回防災訓練（2月24日（金）14時～）

夜間の火災を想定。2Bリネン庫から出火。消火器で初期消火するも鎮火しないため、エアーストレッチャー等を使用して、入院患者を2階の避難場所まで避難させた。訓練後、中棟2階廊下の屋内消火栓から屋外へ向けての放水訓練を実施した。（模擬勤務者23人、模擬患者18人）

【訓練風景】

第1回防災訓練



エアーストレッチャー講習会



第2回防災訓練



5.2.14 広報委員会

1) 委員会目的

広報活動の推進と運営を行うことを目的として、不定期に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H28/ 5/30	・ 医療センターだより 61号について ・ 平成28年度 市民公開講座について
H28/ 8/ 8	・ 医療センターだより 62号について
H28/10/24	・ 医療センターだより 63号について ・ 平成27年度版『病院年報』について
H28/ 2/21	・ 医療センターだより 64号について ・ 医療センターだより 表紙の写真について ・ 平成28年度 医療センターだより実績報告及び 29年度発行予定について

3) 主な活動内容

- ・ 年4回（5・7・10・1月）の医療センターだよりの発行。
- ・ 各種パンフレット（病院案内、回復期リハ病棟案内、療養病棟案内）の内容の見直しと発行。
- ・ ホームページの更新。



Vol.60

在宅医療の推進について

- ・ 訪問診療について
- ・ 医療安全フォーラム
- ・ 新任医師の紹介



Vol.62

学校長就任挨拶

- ・ 豊田地域看護専門学校
- ・ 新任医師の紹介
- ・ 新人職員の紹介
- ・ こんにちは！豊田地域ケア支援センターです
- ・ 診療医師の紹介



Vol.61

再整備について

- ・ 再整備基本設計概要
- ・ 熊本地震診療支援活動報告
- ・ 新人職員の紹介
- ・ 市民公開講座ご案内



Vol.63

新年のご挨拶

- ・ 「在宅看取りをされた患者家族の想いを聴いて」
- ・ インフルエンザの流行する種類は変化します！
- ・ 市民公開講座を開催しました
- ・ 新人職員の紹介

5.2.16 衛生委員会

1) 委員会目的

職員の健康保持及び職場環境の改善を目的として、毎月第3木曜日に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H28/ 4/21	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・職員の健康管理（健康診断等）の年間スケジュールについて ・平成28年度衛生委員会の委員について ・労働災害の発生について ・ストレスチェックの規程の検討について
H28/ 5/19	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・健康診断の結果について ・ストレスチェックの規程の検討について
H28/ 6/16	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・健康診断の結果について ・長時間労働者に対する面接指導について ・ストレスチェックの規程の検討について
H28/ 7/21	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・長時間労働者に対する面接指導について ・ストレスチェックの規程について
H28/ 8/18	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・長時間労働者に対する面接指導について ・定期健康診断の実施について ・化学物質のリスクアセスメントについて
H28/ 9/15	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・インフルエンザワクチンの接種について ・ストレスチェック結果に基づく集団ごとの集計・分析のための集団の分け方について ・化学物質のリスクアセスメントについて
H28/ 10/20	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・作業環境測定（ホルムアルデヒド、キシレン、メタノール）の結果について ・ストレスチェックの実施について ・長時間労働による健康障害の防止について
H28/ 11/17	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・健康保険加入者の生活習慣病予防健診の実施について ・労働災害の発生について
H28/ 12/15	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・労働災害の発生について ・職員定期健康診断の結果について

H29/ 1/19	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・職員定期健康診断の実施について ・特殊健康診断の実施について ・V D T 健康診断の実施について
H29/ 2/16	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・労働災害の発生について
H29/ 3/16	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・平成 2 9 年度の委員の選任について

3) 主な活動内容

- ・産業医による職場巡視を月 1 回、衛生管理者による職場巡視を週 1 回実施
- ・職員健康診断に関する報告・検討
- ・ストレスチェックに関する検討
- ・労働災害に関する報告・検討
- ・メンタルヘルス研修会の開催（平成 2 9 年 2 月 2 3 日（木）開催・8 5 名参加）
- ・長時間労働による健康障害の防止対策

6 講演、学会、研究会等の発表

【市民公開講座】

- ・ 豊田加茂医師会館 講堂（10月8日）
- ・ テーマ「ひとりで家で死ねますか？」
- ・ 講師：医療法人 聖徳会 小笠原内科 理事長兼院長
日本在宅ホスピス協会会長 小笠原 文雄 【出席361名】

【学会発表・講演等】

- ・ 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（6月11～12日開催）
演題「施設からの救急疾患受け入れにおける現状と課題に対する検討」
／診療部総合診療科：寺澤佳洋
- ・ 第25回豊田加茂医学会（7月2日開催）
演題「藤田保健衛生大学 総合診療・家庭医療プログラムの取り組み」
／診療部総合診療科：近藤敬太
- ・ GSA's 69th Annual Scientific Meeting（11月17～20日開催）
演題「THE IMPACT OF PRIMARY CARE PHYSICIAN ON PATIENTS' OUTCOME AMONG JAPANESE ELDERLY」／診療部総合診療科：大杉泰弘
- ・ 愛知県医療ソーシャルワーク学会（2月11日開催）
地域医療連携室：杉山友規
- ・ 日本在宅医学会（6月15～17日開催）
演題「新規事業として在宅医療を開始する際の病院事務の役割」
／在宅支援課：鈴木重良
- ・ 和みの会（7月12日開催）
演題「身元保証団体について」／在宅支援課：向井、高橋、内田、土面
- ・ ケアマネージャー勉強会（7月22日開催）
在宅支援課：向井、高橋、内田
- ・ 包括・居宅合同ケアマネージャー研修会（11月11日開催）
在宅支援課：向井、高橋、内田、土面
- ・ ケアマネージャー情報交換会（2月2日開催）
在宅支援課：向井美夏、内田史佳
- ・ 第18回日本在宅医学大学 第21回日本在宅ケア学術集会合同大会
（7月16～17日開催）
演題「在宅医療と在宅看護の多様化と進化を学ぶ」／訪問看護科：加納美代子

- ・ほっとかん 医療安全管理研修会（6月16日開催）
演題「転倒転落と安全のために」／医療安全推進室：粕谷 敦
- ・豊田加茂医師会医療安全管理研修会（9月21日開催）
演題「医療安全のために」／医療安全推進室：粕谷 敦
- ・療養環境の質を高める会（2月4日開催）
医療安全推進室：三枝由美、影山重幸
- ・中野胃腸病院職員院内感染対策研修会（6月16日・7月21日開催）
院内感染対策委員会・ICT委員会：松井雅子
- ・豊田加茂医師会医療安全管理研修会（9月21日開催）
院内感染対策委員会・ICT委員会：松井雅子、成田宜隆
- ・日本転倒予防学会第3回学術集会（10月2日開催）
演題「離床センサーベットの適正使用に対する取り組み」
／医療安全管理委員会：影山重幸

7 研修状況

7.1 研修会

所属	院外研修	院内研修	発表
共通・病院全体	5	1	
理事長	3	0	
院長	5	0	
副院長	6	0	
診療部	31	5	3
看護部	42	81	
薬剤部	30	21	
診療放射線科	4	6	
臨床検査科	15	11	
リハビリテーション科	29	52	
栄養科	10	24	
地域医療連携室	18	0	1
事務部	4	7	
総務課	14	0	
管理課	2	0	
医事課	3	0	
在宅医療支援センター	2	0	
在宅支援課	75	0	5
訪問看護科	23	42	1
健診センター	3	0	
健診事業課	8	2	
健診看護科	2	3	
保健指導課	3	0	
医療安全推進室	10	0	3
教務科	14	0	
事務課	2	0	
事務局	11	0	
院内感染対策委員会・ICT委員会	24	33	2
医療安全管理委員会	3	7	1
NST委員会	0	1	
災害対策委員会	0	1	
褥瘡防止対策委員会	0	1	
衛生委員会	0	1	
DST委員会	2	1	
IT委員会	4	0	
セーフティマネジメント部会	0	35	
計	407	335	16

8 実習状況

8.1 学生実習

学校名	受入数	実習期間	受入担当
日本赤十字豊田看護大学	2名	H28/ 5/17～H28/ 5/26	訪問看護
	2名	H28/ 6/ 7～H28/ 6/16	
	2名	H28/10/ 4～H28/10/ 7	
	2名	H28/10/31～H28/11/ 2	
	2名	H28/11/21～H28/11/24	
中部リハビリテーション専門学校	1名	H28/ 7/25～H28/ 9/ 9	理学療法
作業療法士会（高校生見学）	3名	H28/ 8/ 1～H28/ 8/19	作業療法
愛知県看護協会	1名	H28/ 8/ 8～H28/ 8/ 9	訪問看護
	1名	H28/ 8/22	
	1名	H28/ 8/26	
	2名	H29/ 1/16～H29/ 2/15	
日本福祉大学	1名	H28/ 9/19～H28/10/28	作業療法
東名古屋病院附属リハビリテーション学院	1名	H28/ 9/20～H28/10/28	理学療法
	1名	H28/11/ 7～H28/12/16	作業療法
	1名	H29/ 1/23～H29/ 1/27	
愛知県立総合看護専門学校	3名	H28/10/11～H28/10/21	訪問看護
至学館大学	1名	H28/11/28～H28/12/ 2	栄養科
東海学園大学	2名	H28/11/28～H28/12/ 9	栄養科
中部リハビリテーション専門学校	1名	H29/ 1/30～H29/ 2/17	理学療法
東海医療科学専門学校	1名	H29/ 2/ 8	作業療法
日本福祉大学	2名	H29/ 2/13～H29/ 2/17	作業療法
	1名	H29/ 2/20～H29/ 2/24	
東北福祉大学	2名	H29/ 2/27～H29/ 3/ 3	理学療法
	4名	H29/ 3/ 6～H29/ 3/10	
	3名	H29/ 2/20～H29/ 2/24	
愛知医療学院短期大学	1名	H29/ 2/27～H29/ 3/ 3	作業療法
14校	44名		

8.2 職場体験学習

学 校 名	日 程	参加人数
猿投中学校	H28/ 6/ 8	2 名
梅坪台中学校	H28/ 6/22～23	1 名
豊南中学校	H28/ 6/14～15	1 名
末野原中学校	H28/ 6/21～22	1 名
崇化館中学校	H28/ 8/ 2～3	1 名
愛教大付属中学校	H28/11/28	1 名
6 校		7 名

主に豊田市内の中学生を対象に、愛知県教育委員会が推進する『あいち・出会いと体験の道場』に基づいて行う職場体験学習を通して、働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなどを学ぶ機会を提供する。また、豊田市における医療センターの役割について知ってもらう。